

令和6年度
宮崎県立図書館要覧



館旗



館歌

宮崎県立図書館の歌

作詞 中村地平
黒木清次
作曲 園山民平

Musical score for the library song, featuring four staves of music with lyrics in Japanese below the notes.

ツ バ メ コ ウ ミ ナ ミ ノ マ 4 ニ ク ス ワ
カ バ ヒ カ リ ニ ソ ヨ ギ コ コ ニ タ ツ
ハ ク ア ノ ヤ カ タ ア ア ソ ノ マ ド ラ セー カ イー ニー
ヒ ラ クー ミ ヤ ガ キ ミ ヤ ガ キ ミ ヤ ガ キ ト ショ カン

1. 燕交う 南の街に
楠若葉 陽光にそよぎ
ここに立つ 白亜の殿堂
ああ その窓を世界にひらく
宮崎図書館
2. 双石の 山脈青く
この窓辺 真理をたずね
書とけば わが生きる日の
ああ 新なる生命はわけり
宮崎図書館
3. 木犀の匂う夕に
歌は充つ 希望もとめて
うち集う 叡智の友の
ああ ここに汲む文化の泉
宮崎図書館
4. 赤江灘 潮騒遠く
もの思う 葦は萌えたち
この世紀 平和の国を
ああ 打ちたてん願いは強し
宮崎図書館

<目 次>

..... 【第1部】	
1 運営方針	2
2 令和6年度の主な取組	4
3 組織	7
4 当初予算	8
5 令和6年度事業計画	9
..... 【第2部】	
1 資料概要	12
(1) 配架別・分類別資料数	12
(2) 資料購入の推移	12
(3) 貴重資料	12
(4) 資料整備状況	14
① 資料受入	14
② 資料受入区分別・分類別資料数	14
(5) 保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	14
(6) デジタルアーカイブの状況	14
2 事業実績	15
(1) 利用事業（団体等貸出を含む）	15
① 年度別貸出利用状況の推移	15
② 貸出利用地区別内訳	16
(2) 館内利用事業	17
① 入館者及び貸出利用等	17
ア 年度別入館者数及び登録者数の推移	17
イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移	17
ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数	18
エ 分類別図書貸出冊数	18
オ 相互貸借件数	18
カ AVコーナー資料の利用状況の推移	18
キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）	19
② その他サービス等	19
ア 調査相談（レファレンス）	19
イ YA（ヤングアダルト）サービス	19
ウ 児童サービス	20
エ ビジネス支援サービス	20
オ 健康情報サービス	21
カ 障がい者等サービス	21
キ パソコン・データベースコーナーの利用状況	21
ク 複写サービス利用状況の推移	22
ケ 各種相談事業	22
(3) 館外利用事業	23
① やまびこ文庫	23
ア 定期配送による支援	23
イ 市町村・団体支援用専門資料での貸出による支援	24
② セット文庫	24
③ 子育て支援図書セット貸出	25
④ 団体文庫	25

(4) 図書館ネットワーク事業	25
① 公共図書館・室	25
② 県立学校	26
③ 大学	26
(5) 訪問支援	27
① 定期訪問	27
② 要請訪問	27
(6) アドバイザー派遣	28
(7) 視聴覚事業	28
① 視聴覚資料等貸出利用状況	28
② 視聴覚行事	29
(8) 閲覧室内展示	30
① 特設展示コーナー	30
② 産廃基金コーナー	30
③ 企画展示コーナー	30
④ 博物館との連携展示	30
(9) 関係機関と連動した情報発信事業	31
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）	31
② 県内公共図書館（室）における巡回展	32
(10) 文化活動事業	34
① 第 65 回「こどもの読書週間」関連行事	34
② 第 77 回「秋の読書週間」関連行事	34
③ 特別展等	35
④ 郷土史料等学習活動	37
(11) 郷土資料調査研究事業	37
① 『宮崎県史料』	38
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	38
③ デジタルアーカイブ事業	38
(12) 広報活動等	38
① 「緑陰通信」発行事業	38
② ホームページ等活用事業	38
③ 職場体験学習・施設見学	39
(13) 「かば先生文庫」	40
(14) 講演会等の主催・共催	41
① 宮崎県立図書館名誉館長就任 10 周年記念講演会	41
② 郷土の作家「中村地平」一試写会と館歌披露	41
③ 「第 11 回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」	42
④ 「みやざき自然塾コロキウム」	42
⑤ 「宮崎考古学会総会」	43
⑥ 第 8 回宮崎県高等学校ビブリオバトル大会	43
⑦ 「石井光太氏講演会」	44
⑧ 令和 5 年度「いいお産の日 in 宮崎」	44
⑨ 「宮崎の自然」合同研究発表会	44
(15) 置県 140 年宮崎県史等デジタル化及び活用推進事業	45
① 牧水遺墨デジタル化事業	45
② Web コンテンツ作成事業（「ウィキペディアタウン in 椎葉村」実施事業）	45
(16) 大学及び大学図書館との連携	45
(17) 研修	46
(18) 図書館サポーター	48

3 各種協議会等	48
(1) 県立図書館協議会	48
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	49
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	50
(4) 令和6年度宮崎県立図書館資料推薦委員	52

..... 【参考資料】

1 沿革	54
(1) 県立図書館の歩み	54
(2) 歴代館長名	57
2 県立図書館条例・規則等	58
(1) 県立図書館条例	58
(2) 県立図書館管理規則	58
(3) 県立図書館協議会運営規則	63
(4) 宮崎県立図書館資料収集方針	64
(5) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領	66
(6) 資料の除籍に関する要項	67
3 施設概況	68
4 令和5年度施設の維持管理	69
5 利用案内	70
6 市町村立図書館一覧	71

【 第 1 部 】

令和6年度の運営方針等について

1 運営方針

○ 県立図書館の理念

「人づくりと地域づくりに役立つ図書館」

○ 県立図書館ビジョン

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にするため、平成29年12月に「県立図書館ビジョン」(平成30年度から令和9年度までの10年間)を策定しました。

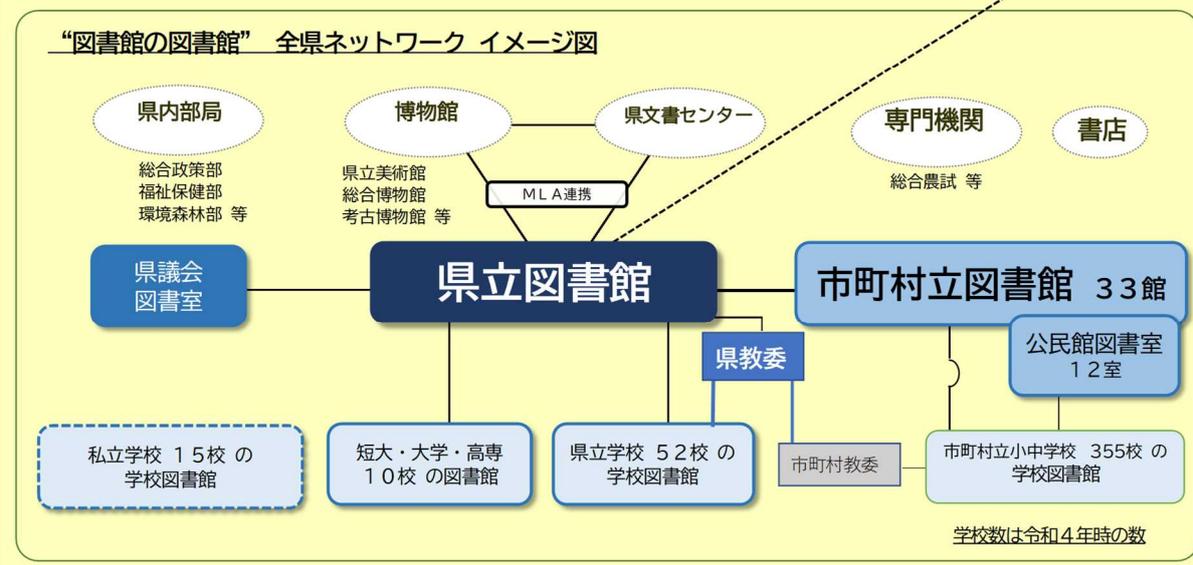
その後のデジタル化の急速な進展や感染症の流行拡大等に直面し、図書館運営を取り巻く環境が変化したことなどから、令和5年2月に一部改定しました。(期間は令和9年度まで)

当該ビジョンにおいては、「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」を基本目標に、その達成のために3つの行動指針を定め、さらにそれぞれの行動指針に沿って今後の施策展開の方向性を示しました。

ビジョンの全体像

基本目標 人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

- 行動指針
- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
 - 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
 - 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える



※MLA連携…Museum(博物館)、Library(図書館)、Archives(文書館)といった施設間の枠組みを超え、相互に協力して文化資産等の収集・保存や情報提供等を行うためのつながり。

○ アクションプラン

県立図書館では、今後も宮崎県立図書館の理念及びビジョンのもと、3つの行動指針及び施策展開の方向性に沿って、アクションプラン(令和5年度から令和7年度までの3年間)に掲げた取組を実施してまいります。

行動指針 及び 施策展開の方向性

指針1 図書館の図書館(全県ネットワーク)

- (1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力
- (2) 学校図書館の支援
- (3) 大学図書館への利用促進
- (4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理
- (5) 図書館の図書館としての情報発信

指針2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

- (1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進
- (2) 地域情報のデジタル化・データベース化

指針3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

- (1) レファレンスサービスの充実
- (2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供
- (3) 生涯読書活動の推進
- (4) 他の専門機関との連携
- (5) 情報アクセス環境の整備
- (6) 政策立案の支援
- (7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス
- (8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保
- (9) 新たな動向の把握及び事業の改善

《令和6年度の重点取組事項》

- 事項1 デジタル化等に対応した図書館サービスの拡充
- 事項2 障がい者サービスの充実と利用促進
- 事項3 市町村立図書館(室)・学校図書館に対する支援
- 事項4 専門的資料及び地域資料の収集・整理・活用
- 事項5 県内公共図書館(室)職員の専門的知識・スキルの向上

2 令和6年度の主な取組

(1) 図書館の図書館(全県ネットワーク)

① 電子図書館としての機能強化

重点取組事項1

重点
取組

地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ等の情報発信・提供について充実を図るとともに、電子書籍サービスの活用推進(環境整備)を進める。

② 訪問等による市町村支援

重点取組事項3

重点
取組

各市町村立図書館(室)が持つ課題やニーズに合わせた「市町村支援チーム」を館内で連携して編成した上で、定期又は要請に応じて訪問し、図書館(室)運営や読書振興、地域課題解決型サービスのあり方等について助言や支援を行う。

③ 学校図書館への支援

重点取組事項3

重点
取組

学校司書等との関係を密にしてマイラインサービスのさらなる活用や地域の公共図書館(室)との連携促進などを進め、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動の推進につなげる。

④ 研修による市町村のスキルアップ

重点取組事項5

重点
取組

県立図書館や公共図書館連絡協議会の事業による専門的な研修や、市町村の要請による個別研修等によって、県内市町村立図書館(室)職員の資質向上を図る。

⑤ 「セット文庫」活用による町村支援

重点取組事項3

重点
取組

町村立図書館(室)及び学校に対しては「セット文庫」等を活用し、読書活動や調べ学習を支援するための資料を貸出し、読書環境の充実を支援する。
※セット文庫…テーマ別にセット組にした資料。町村立図書館(室)や対象の学校に対し、必要に応じて貸し出す。

⑥ マイラインサービス等物流の活用による利用促進

大学図書館や県立学校などとのマイライン接続を拡充するほか、相互貸借及び政策立案支援における県庁便等の物流の検討を行う。

※マイラインサービス…県立図書館の図書を最寄りの市町村立図書館(室)で借りることができるサービスで、マイライン[My Line]とは「Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network System」の略称。

⑦ 収蔵スペースの確保に向けた検討

除籍方針や配架方法の見直し、館内既存施設の活用、所蔵資料のデジタル化などを進めるとともに、収蔵スペースの確保に向けた検証作業や早期の計画策定を図る。

⑧ 危機管理対策

利用者の安全・安心な利用はもとより、非常時の職員の安全確保等、様々な危機事象を想定した館内施設の点検や整備、必要な防災訓練等を実施する。

⑨ 図書館システムの円滑な更新に向けた整備

令和3年2月に導入した図書館業務をサポートする電算システムの次期更新を念頭に、利便性の向上やセキュリティ強化、デジタル化への機能対応など必要とされる仕様を検討し、的確な更新準備を進める。

(2) みやぎきの資料(地域資料)の拠点

① 地域資料の収集・整理・保存・活用

重点取組事項4

重点
取組

県の機関や市町村に対して地域資料の提供を呼びかけ、積極的な把握と収集に努め、地域資料の充実を図るとともに、ポーンデジタルなどの地域資料の収集について検討する。

また、地域資料の発掘・調査や歴史的事象の紹介・検証に重要な役割を果たしている県内各地の史談会等の活動を支援しながら、地域資料の掘り起こしや保存に取り組む。

※ポーンデジタル…冊子ではなく電子媒体で提供することを前提として作成当初からデジタル形式で記録された情報コンテンツ。

② 地域資料のメンテナンス整備

重点取組事項4

重点
取組

劣化が懸念される地域資料の状態を確認し、必要な補修やデジタル化等の対策を講じて継続的に活用又は利用者に提供できるような手立てを整備する。

③ 本県文化の魅力に関わる地域情報の発信

重点取組事項1

重点
取組

小林邦雄コレクションを基にした若山牧水に関する展示や、中村地平など本県の文化振興と関わりの深い人物等についての県内各種研究・学術団体等と連携した文化講座などを通じて、本県の歴史・文化をはじめとする幅の広い地域情報の発信を行う。

また、デジタル化した牧水遺墨や宮崎県史などの地域資料をデジタルアーカイブとして整理し、館外へ発信・紹介する。

※小林邦雄コレクション…故・小林邦雄氏(医師)が生前に収集した牧水の遺墨(直筆の掛け軸、色紙、短冊等)や関係資料291点をご遺族が当館に寄贈されたもの。

※中村地平…本県出身の作家で、芥川賞候補に3回選ばれる。昭和22年から約10年間にわたり当館の第23代館長を務めた。

④ 受入資料の整理と調査・分析

杉田文庫関係資料や高鍋町図書館から受け入れた資料等を整理し、それぞれの歴史的意義を調査・分析する。

※杉田文庫…宮崎市の杉田正臣氏により寄贈された、江戸初期から昭和期に至る約1万2千点もの俳諧・歴史書・医学書などからなる資料で、昭和60年に創設。

⑤ 地域に関する貴重資料のデータベース化とデジタル化

貴重資料の整理状況を確認し、データベース化するとともに、デジタル化して公開する。

(3) 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

① 障がい者サービスの利用促進

重点取組事項2・5

重点
取組

アクセシブルな書籍や端末機器等についての情報を収集・提供し、読書が困難な利用者を積極的にサポートするほか、来館が困難な利用者に対しては、郵送サービスの実施など利用者のニーズに応じた円滑な図書館利用の支援に努める。

また、県内図書館(室)職員向けの研修を実施し、読書バリアフリー法に係る読書活動を推進する職員等の資質向上を図る。

※読書バリアフリー法…全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられることを目的に令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

② 県立図書館ならではの資料収集

市町村立図書館(室)では収集が難しい専門書・参考図書等を中心に、全分野の資料を網羅的に収集するよう努め、県全体での効果的な資料の充実を図る。

③ レファレンスサービスの充実

専門機関との連携や担当職員の能力向上に努めるとともに、県立図書館の有する資源(専門知識、資料、データベース、施設等)を活かしたレファレンスサービスを適切に提供するほか、県行政機関へのサービス周知を図り、政策立案の支援につなげる。

④ 県民参加型情報発信の普及

地域や他の専門機関と連携して所蔵資料等を活用した県民参加型情報発信のモデル的取組(例:ウィキペディアタウン)を進め、普及させることで新たな学びや研究活動を県民に提供する。

※ウィキペディアタウン…地域の文化財などを調査し、インターネット百科事典「ウィキペディア」の記事を作成・編集するイベント。

⑤ 専門研修の受講による資質向上

計画的に専門研修等に派遣、又はオンライン研修受講を促進し、職員の研鑽に取り組むとともに、館内業務の見直し、改善等にもフィードバックして全体の資質向上を図る。

⑥ 書誌データ等の充実・改善

蔵書検索システムで利用される書誌データのさらなる充実とデータ検索機能の改善を図り、利用者が求める資料に数多く出会えるように整備する。

※書誌データ…図書等のタイトルや編著者、出版社、出版年、大きさ、ページ数などを記述したもの。目次データや人物等の情報を加えることで検索しやすくすることができる。

⑦ 地域課題解決に関する市町村立図書館(室)の意識の醸成

館内での課題解決型サービスの充実に取り組むとともに、市町村立図書館(室)に対して必要な情報を提供し、図書館(室)として地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図る。

⑧ 図書館サポーターの設置

図書館サポーターの設置を通じて、県民の図書館への理解を深め、図書館活動のより一層の活性化と図書館振興を図るとともに、県民に質の高い生涯学習の場を提供する。

3 組織

(1) 職員の現員調

単位 (人)

区分	館長	副館長	課長	主幹	専任主幹	専門主幹	副主幹	主査	専門主事	主任主事	主事	社会教育主事
現員27	1	1	2	4	2	2	1	3	2	5	2	2

(2) 組織及び分掌事務

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 名誉館長 伊藤 一彦 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 館長 平山 文春 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 副館長 津田 秀信 </div>	総務・企画課 17人	総務担当 5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・ 庁舎管理(施設・設備営繕、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画
	課長	企画担当 3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・ 図書館広報及び各種情報発信、図書館情報システム等の運営管理 ・ 職員研修、図書館実習・職場体験学習等
		資料管理担当 8人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・ 購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入
	情報提供課 37人	普及支援担当 7人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・ 県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・ やまびこ文庫、BM書庫管理・活用、マイラインサービスの運営・普及
	課長	郷土情報担当 5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資料、貴重資料の収集・保存・整理・活用 ・ 県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・ 宮崎県地方史研究連絡協議会
		情報提供担当 24人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・ レファレンスサービス、相互貸借 ・ 高齢者・障がい者サービス

4 当初予算

(歳入)

科 目	予 算 額	説 明
財産収入	1,856 千円	
財産運用収入	1,856	
財産貸付収入	1,856	
公募型財産貸付料	1,856	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰入金	1,254 千円	
基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
諸収入	829 千円	
雑入	829	
雑入	829	
雑入	829	電子複写及び電気・水道使用料

(歳出)

事業名	予算額(千円)
図書館費	244,766
管理運営費(庁舎の維持管理に要する経費)	86,996
図書館協議会(図書館協議会の運営に要する経費)	228
県立図書館老朽化対策事業(県立図書館受変電設備改修工事)	157,542
図書館サービス推進費	209,629
県民の読書を支える図書館づくり事業 (図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費等)	42,303
図書館サービス費 (資料の提供、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費等)	105,790
AV活動推進費(AV機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費)	55
図書館ネットワーク推進事業 (市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費)	508
インターネット通信事業(インターネット通信に要する経費)	172
みどりの図書館づくり推進事業 (自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費)	1,446
図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 (外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費)	839
電子図書館サービス拡充事業 (電子書籍の導入による利用者へのサービス拡充及び映像・郷土資料のデジタル化に要する経費)	53,386
置県140年宮崎県史等デジタル化事業 (宮崎県史等をデジタル化及び公開することにより文化活動の活性化を図る事業)	5,130
郷土資料調査研究事業推進費	9,100
史料刊行費(史料・研究紀要の刊行に要する経費)	4,234
郷土資料調査・研究員報酬等 (郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等)	4,866
合 計	463,495

5 令和6年度事業計画

読む…………貸出サービス等

●個人貸出

1人10冊まで 児童図書室は5冊まで	14日以内
-----------------------	-------

障がい者の方への「無料宅配サービス」、一般の方への「有料宅配サービス」も行っていきます。

●図書館ネットワーク

宮崎県内図書館横断検索 インターネットで、読みたい本を県内のシステム参加図書館の蔵書から検索できます。
県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス） インターネットで県立図書館の蔵書を検索し、居住している市町村立図書館（室）を通じて借りることができます。
相互貸借 国立国会図書館の総合目録システム等から県立図書館に所蔵のない本を借りることができます。

●団体貸出

やまびこ文庫 市町村の図書館（室）やへき地の学校、特別支援学校等を対象とした書庫の資料貸出・配本
団体文庫 読み聞かせボランティア団体等を対象にした貸出

見る・聴く…………映画会・コンサート・おはなし会等

●視聴覚事業

図書館シアター 名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する上映会	7/24(水)・9/11(水) 9/28(土)・1/25(土)
子ども映画会 子ども達の夢を育て、情操教育を支援する映画会	5/25(土)
緑陰コンサート 生演奏やレコード音楽を楽しむコンサート	6/23(日) 11/4(月・祝)
メモリアル宮崎 ～郷土を知ろう～ 16ミリフィルムに記録されている昭和の宮崎県の出来事等を鑑賞する上映会	2/12(水) 3/5(水)

●読書活動関連事業

おはなし会 子どもたちを対象とした絵本等の読み聞かせ	火曜日(14:00～14:30) 水曜日(15:00～15:30) 土曜日(15:00～16:00) ただし、祝日は開催しません。
--------------------------------------	--

学ぶ…………講座・特別展示等

●宮崎県文化講座（10:00～15:30）

中村地平に関する講演会及び鼎談 講演会：河原功氏（一般財団法人台湾協会評議員） 鼎談：小松孝英氏（美術家）、岡林稔氏（宮大名誉教授）、河原功氏	10/6(日)
--	---------

※内容については、変更することがあります。

●古文書講座（いずれも13:30～15:00）

本館所蔵の県内関係の古文書を教材にして古文書の読み方を学びます。	6/1(土)・7/6(土) 8/3(土)・9/7(土)
----------------------------------	--------------------------------

●特別展示

1	特別展「中村地平の足跡」	9/21(土)～11/24(日)
2	企画展 若山牧水遺墨デジタル公開記念 「牧水遺墨」(仮)	12/7(土)～1/26(日)

相談する…………レファレンスサービス・相談会等

●レファレンスサービス

質問や相談を受けて、図書館職員が参考となる本の紹介や情報提供を行うサービス（閲覧室4番カウンター及び電話・FAX・メール等で受付）

●各種無料相談会

健康相談会(まちの保健室) 宮崎県看護協会による心身の健康に関する無料相談会	毎週土曜日 (第5以外)
法律相談会 宮崎県司法書士会による法律に関する無料相談会	毎月第2金曜日 ※8月は実施なし
不動産相談会 宮崎県不動産相談会による不動産に関する相談会	4月・10月 実施予定

楽しむ…………その他イベント

●自主企画展示

こどもの読書週間企画展 「みんなの本棚 ～バリアフリーなこどもの本～」 期間中、絵本や児童書の展示のほか、特別おはなし会やワークショップを行います。	4/16(火)～5/6(月・祝)
秋の読書週間企画展 「読書県みやぎを支える本屋さん」 秋の読書週間に関連する企画展示を行います。	10/16(水)～11/4(月・祝)
当館自主企画展 「所蔵資料から」	8/14(水)～9/1(日)
当館自主企画展 「視聴覚コレクション展」	2/11(火)～2/16(日)

●ギャラリー展（令和6年度計画） 県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業 ※主催◎ 共催○

1	4/3 (水) ~ 4/14 (日)	・宮崎の古墳文化パネル展～世界遺産登録をめざして～ ・インフラストック効果パネル展
2	4/16 (火) ~ 5/6 (月・祝)	◎こどもの読書週間企画展「みんなの本棚～バリアフリーなこどもの本～」
3	5/9 (木) ~ 5/19 (日)	・自転車マナーアップ強化月間企画展 ・消費生活問題啓発パネル展
4	5/22 (水) ~ 6/2 (日)	・思春期こころの健康 ・宮崎県の農業遺産
5	6/5 (水) ~ 6/16 (日)	・みどりの特別企画展～6月は環境月間です！～ ・令和6年度「土砂災害防止月間」パネル展～備えよう！助かる命を守るため～
6	6/19 (水) ~ 6/30 (日)	・河川愛護ポスター展 & 安全な水辺活動の推進 ・男女共同参画パネル展
7	7/3 (水) ~ 7/15 (月・祝)	・ご存じですか、高次脳機能障がい～頭のケガや脳卒中の後から起こる後遺症～ ・森林・林業にふれてみませんか！～宮崎県林業技術センターはこんなところ～
8	7/18 (木) ~ 7/28 (日)	・統計グラフコンクールの作品展～グラフで見ると新たな発見～ ・土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展
9	7/31 (水) ~ 8/12 (月・祝)	・農畜水産業の技術最前線 ～最新の研究をわかりやすくご紹介～
10	8/14 (水) ~ 9/1 (日)	◎所蔵資料から
11	9/3 (火) ~ 9/8 (日)	○NHK 大河ドラマ「光る君へ」全国巡回展
12	9/25 (水) ~ 10/14 (月・祝)	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
13	10/16 (水) ~ 11/4 (月・祝)	◎秋の読書週間企画展「読書県みやざきを支える本屋さん」
14	11/7 (木) ~ 11/17 (日)	・「税を考える週間」特別企画 ～税に関する作品展～ ・『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク』&『霧島ジオパーク』の魅力
15	11/20 (水) ~ 12/1 (日)	・ひなたゼロカーボン 2050 ギャラリー展 ・みやざき食品ロス削減パネル展
16	12/4 (水) ~ 12/15 (日)	・里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン ・私とみんなの共生社会シンポジウム 展示の部
17	12/18 (水) ~ 12/27 (金)	・人権啓発パネル展～思いやりの心で 豊かな人間関係を～ ・シニアパワー宮崎づくり企画展～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～
18	1/8 (水) ~ 1/26 (日)	・日本のひなた宮崎国スポ・障スポ展 ～みんなで紡ごう！かけがえのない経験を未来のわたし達へ～
19	2/11 (火) ~ 2/16 (日)	◎視聴覚コレクション展
20	2/19 (水) ~ 3/2 (日)	・みやざきの「ひと」～みやざきの「昔」から「今」へ ・サイバー犯罪被害防止パネル展
21	3/5 (水) ~ 3/23 (日)	・「県民との協働」パネル展 ・がん検診受診率向上パネル展

【 第 2 部 】

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

(1) 配架別・分類別資料数(令和6年3月31日現在)

単位(冊)

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	BM書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合(%)
0 総記	8,299	965	41,874	869	384	466	52,857	6.2
1 哲学	4,891	289	20,384	1,031	112	3	26,710	3.2
2 歴史	13,910	1,632	57,822	2,724	930	329	77,347	9.1
3 社会科学	24,402	2,631	153,947	5,383	2,432	356	189,151	22.3
4 自然科学	13,767	3,855	45,727	6,187	1,136	20	70,692	8.3
5 技術	12,098	1,664	43,317	5,326	773	22	63,200	7.5
6 産業	11,167	890	39,325	2,215	556	8	54,161	6.4
7 芸術	10,602	2,742	45,748	5,077	7,718	69	71,956	8.5
8 言語	3,112	626	10,013	1,205	146	44	15,146	1.8
9 文学	26,828	19,151	140,500	38,628	373	56	225,536	26.6
計	129,076	34,445	598,657	68,645	14,560	1,373	846,756	100.0

(2) 資料購入の推移

単位(購入数:冊、金額:千円)

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	購入数	金額								
図書	10,727	36,976	9,501	33,834	9,465	34,779	10,318	35,091	9,101	36,549
逐次刊行物	3,476	5,544	3,460	5,629	3,544	5,792	3,553	5,881	3,506	6,304
A V 資料	44	735	37	888	22	734	25	779	20	747
計	14,247	43,255	12,998	40,351	13,031	41,305	13,896	41,751	12,627	43,600

(3) 貴重資料(令和6年3月31日現在)

No.	文書名	文書の概要
1	阿萬文書	「尚友堂日記(阿萬豊蔵日記)」、恒久村・吉村の境界争い関係図など129点の文書 ※ 阿萬豊蔵(1809-76)安井息軒に師事し、江戸の昌平黌に学ぶ。帰国して飫肥藩清武郷役人を務める。
2	島津文書	寛文9(1669)年から文久2(1862)年の間の「佐土原藩島津家日記」、「鶴城譜略」、「佐土原藩系図」など佐土原藩の藩政関係の文書141点
3	桑原文書	「佐土原藩譜」、「維新事蹟」、「御軍記」巻1~5などの43点の文書 ※ 桑原家:旧佐土原藩士
4	松尾文書	「歴代公用日記」、「桜島噴火記」、「忠将公御記」などの筆写本24点 ※ 松尾宇一(1886-1963)郷土史家
5	日高文書	「船中道中日記(児玉実行)」、地券、借用書など92点の文書 ※ 日高家:旧佐土原藩の郡方役人

6	内藤家文書	内藤家文書を石川恒太郎氏が翻刻したもの4点 ※ 石川恒太郎（1900-90）地方史研究家
7	小寺文書	飢肥藩楮紙仕立てに関する一件書類、「宮崎大島組大庄屋各村人別帳」など47点の文書 ※ 小寺鉄之助：郷土史研究家
8	新穂家文書	「新穂禎蔵書簡」、土地売渡証文など7点の文書。 ※新穂家：都城市高城町
9	辰己屋文書	藩からの酒造の申渡書・勘定書・証文や藩役人にあてた御請書など33点の文書 ※ 辰己屋：日向国那珂郡江田村（宮崎市）の酒造家
10	児玉日誌	明治20（1887）年から昭和11（1936）年までの日記史料49点 ※ 児玉伊織（1867-1936）明治32年宮崎町長、明治44年から昭和6年まで宮崎県会議員を務めた。
11	一木文書	昭和30（1955）年に写された江戸時代の関孝和系和算書25点
12	正念寺文書	寛文6年の「延岡藩中宗門改帳」や「稲津掃部合戦記写本」、「鹿児島県地誌略」など18点の文書 ※ 正念寺：延岡藩高千穂郷田原（高千穂町）
13	三ヶ所村役場文書	宝暦期の「佐藤信安日記」、享保期の「二又村春秋御銀調帳」ほか13点の文書 ※ 西臼杵郡三ヶ所村役場および桑之内村役場（両村とも五ヶ瀬町）旧蔵
14	佐土原藩島津文書	領地目録、宣旨、口宣案、安堵状など214点の文書 ※ 佐土原藩島津家の文書
15	佐土原藩嶋津家日記	江戸時代の佐土原藩の在所と江戸で書かれた日記571点 ※ 佐土原藩に関する日記
16	高鍋藩本藩実録	「高鍋藩本藩実録」、「続本藩実録」、「続々本藩実録」など53点の文書 ※ 大正14（1925）年に筆写された高鍋藩藩政資料の写本
17	大雄寺文書	江戸中期から明治後期までの大雄寺関連の過去帳20点 ※ 大雄寺：東臼杵郡美郷町西郷田代にある寺
18	青山文書	文久2（1862）年「日州佐土原御検地名寄帳」と万延元（1860）年「日州佐土原御検地竿扱帳写」の2点 ※ 鹿児島藩主導で行われた検地
19	嶠南文庫	「康熙字典」、「西国盛衰記」、「古簡雑纂」、「日向纂記」、「嶠南日記」など590点の文書 ※ 平部嶠南（1815-90）幕末期の飢肥藩の学者・家老
20	秋月文書	「秋月種長家譜」、「秋月家御一門之覚」、「秋月家旧記」など52点の文書 ※ 高鍋藩秋月家の文書
21	佐土原藩島津家文庫	佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍992点
22	杉田文庫	「賦何人連歌」、「朗詠詩俳諧両吟」、「松尾芭蕉肖像」、「夏目漱石俳句短冊」など約6,000点 ※ 杉田直氏、正臣氏2代にわたって収集された俳諧関係資料
23	古典籍類 ※島津家文庫を除く	「大日本史」、「成形図説」、「春秋左氏伝」、「資治通鑑」など約5,000点 ※ 公的機関・大名家・個人から収集した古典籍

これらの蔵書の中には置県100年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸時代後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約12,000点も含まれている。

また、貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約2,000点も保存している。

日高文書から「日向国臼杵郡椎葉山絵図」の一部



(4) 資料整備状況

① 資料受入(令和6年3月31日現在)

単位(冊)

区 分	令和5年度受入資料数	総資料数
図 書 (A)	12,204	767,974
逐次刊行物 (B)	4,874 新聞46種・雑誌438種	60,718
A V 資料 (C)	83	18,064
合計 (A+B+C)	17,161	846,756

② 資料受入区分別・分類別資料数(令和6年3月31日現在)

単位(冊)

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	910	237	2		75	56	1		2	1,283
1 哲 学	352	50								402
2 歴 史	904	356	3			10	2		3	1,278
3 社会科学	2,765	1,562	8		28	27	8		11	4,409
4 自然科学	1,201	282				3	11			1,497
5 技 術	1,488	318	8			8	14		1	1,837
6 産 業	828	418	5		2	2	5			1,260
7 芸 術	1,275	236	1			3	6		12	1,533
8 言 語	222	19					3			244
9 文 学	2,682	690	1			3	38		4	3,418
計	12,627	4,168	28		105	112	88		33	17,161

(5) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況(令和6年3月31日現在)

単位(点)

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	221
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,079
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,743

(6) デジタルアーカイブの状況

当館に収蔵されている佐土原藩島津家文書、嶮南文庫などの貴重資料について、デジタル化を進めて、順次デジタルアーカイブで公開している。令和5年度は262点、10,016コマを公開した。(令和6年3月31日現在)

電子化終了 点 数	公開して いる点数	令和5年度 アクセス数
4,404点 約20万コマ	1,237点 約6万コマ	3,242件



2 事業実績

(1) 利用事業（団体等貸出を含む）

① 年度別貸出利用状況の推移

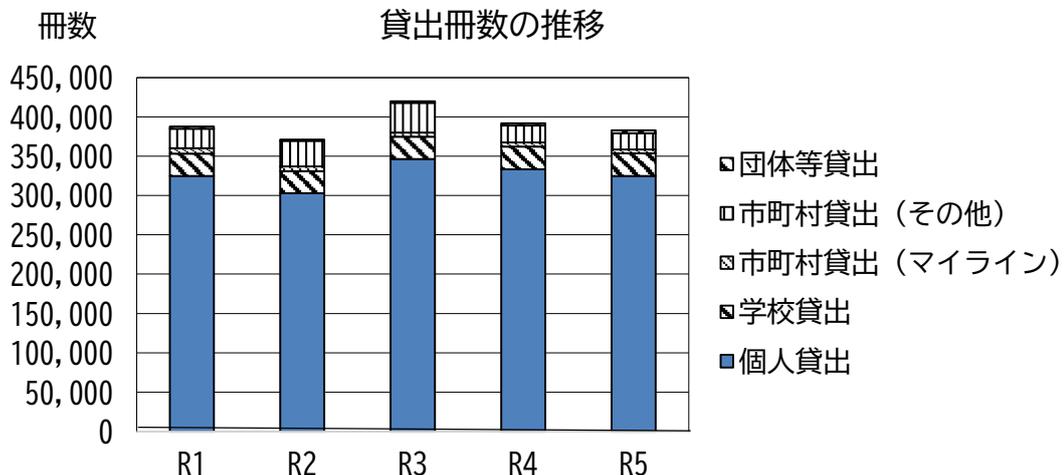
単位(冊)

区 分		年 度					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
貸 出 冊 数	個 人 貸 出 (1 開 館 日 当 たり)	324,730 (1,168)	303,006 (1,094)	346,176 (1,170)	333,479 (1,119)	324,815 (1,105)	
	A マ イ ラ イ ン	7,155	6,112	5,084	5,196	5,059	
	B 子 育 て 支 援 図 書 セ ッ ト	1,140	1,110	1,170	1,080	900	
	や ま び こ 文 庫	C 町 村 支 援	11,400	9,820	10,950	11,690	11,160
		D 学 校 支 援	28,450	27,970	28,710	28,610	28,635
		E 大 量 貸 出 支 援	4,157	12,879	14,608	2,387	1,069
		F 児 童 教 育 施 設 等 支 援	3,790	4,034	3,577	4,432	5,704
	G セ ッ ト 文 庫	3,975	4,369	2,650	2,201	1,879	
	H 団 体 貸 出	2,758	1,630	2,082	2,906	3,511	
	I 視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	40	29	21	23	28	
	合 計	387,595	370,959	415,028	392,004	382,760	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和元年度は令和2年3月5日から3月26日までの19日間、令和2年度は令和2年4月21日から5月10日までの18日間は臨時休館となった。(いずれも通常休館除く。)

* A～Iの事業について

- A ・県立図書館の資料を居住している市町村立図書館・室を通して予約・借受できるシステム
- B ・町村の図書館・室を対象に育児書や幼児用絵本のセットを貸し出す事業（4か月間、1セット30冊、年3回）
- C ・町村の図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- D ・町村立小・中学校（へき地指定校のうち1級地以上）及び県立特別支援学校等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- E ・市町村図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（1年間、1,000冊まで）
- F ・県内の児童教育施設等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- G ・町村立図書館・室及び町村立学校・県立特別支援学校を対象に、セット組みした市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業
- H ・県内の読書団体を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- I ・県内の社会教育団体等を対象に聴覚資料を貸し出す事業（10日間、5本まで）



② 貸出利用地区別内訳（令和5年度）

単位(冊)

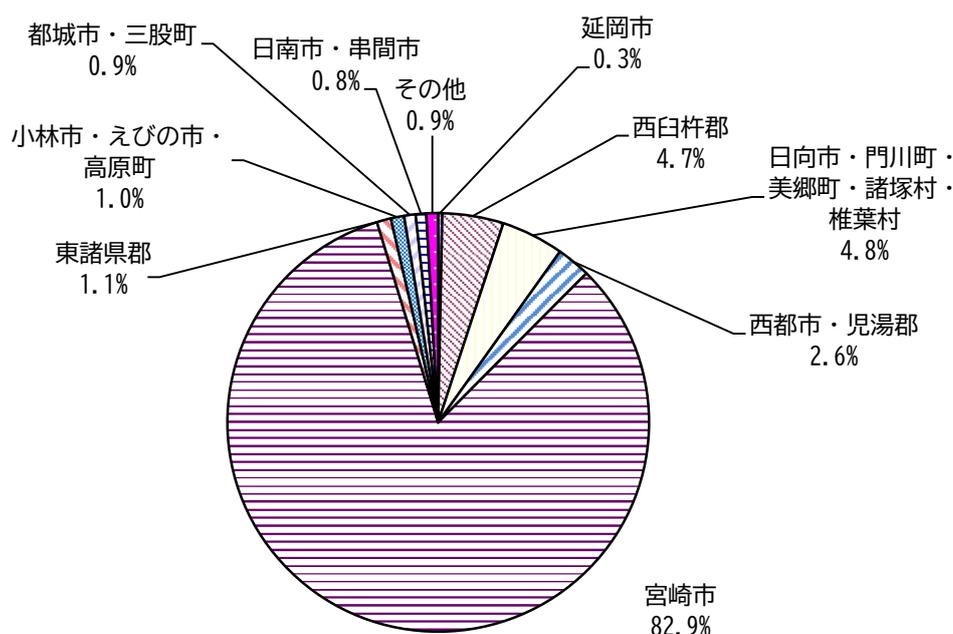
区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	735(0.2)	257(5.1)	—	—	—	992(0.3)
西 白 杵 郡	98(0.1)	625(12.3)	16,275(35.0)	554(29.5)	270(6.0)	17,822(4.7)
日向市・門川町 ・美郷町・諸塚村 ・椎葉村	979(0.3)	844(16.7)	14,890(32.0)	983(52.3)	360(8.0)	18,056(4.8)
西都市・児湯郡	6,900(2.1)	696(13.7)	2,164(4.6)	30(1.6)	180(4.0)	9,970(2.6)
宮 崎 市	304,189(93.6)	701(13.9)	9,000(19.3)	—	3,511(80.0)	317,401(82.9)
東 諸 県 郡	3,895(1.2)	387(7.6)	—	35(1.9)	—	4,317(1.1)
小林市・えびの市 ・高原町	1,425(0.4)	201(4.0)	2,109(4.5)	80(4.2)	90(2.0)	3,905(1.0)
都城市・三股町	2,105(0.6)	696(13.8)	630(1.4)	—	—	3,431(0.9)
日南市・串間市	1,020(0.4)	652(12.9)	1,500(3.2)	—	—	3,172(0.8)
そ の 他	3,469(1.1)	—	—	197(10.5)	—	3,666(0.9)
合 計	324,815 (100.0)	5,059 (100.0)	46,568 (100.0)	1,879 (100.0)	4,411 (100.0)	382,732 (100.0)

※ () 内はパーセンテージ

※ 団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

貸出合計にみる地区別の比率（令和5年度）



(2) 館内利用事業

① 入館者及び貸出利用等

ア 年度別入館者数及び登録者数の推移

区 分	年 度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開館日数(日)	278	277	296	298	294
入館者数(人)	427,575	307,705	289,561	187,141	352,033
(1開館日あたり)	(1,538)	(1,111)	(978)	—	(1,197)
登録者数(人)	7,096	5,509	6,015	5,868	5,823
累計登録者数(人)	286,172	291,681	297,696	303,564	309,387
(1開館日あたり)	(26)	(20)	(20)	(20)	(20)

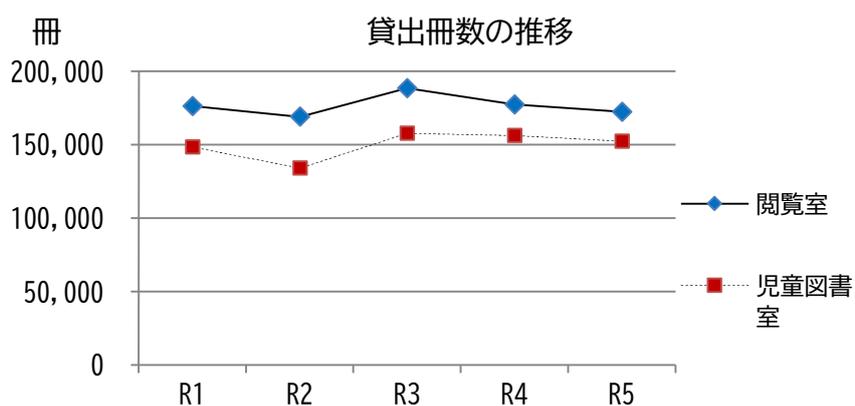
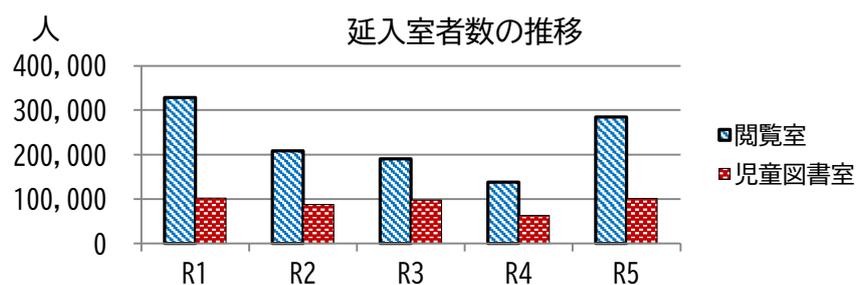
※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の入館者数はカウントされていない。

イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移

単位(人・冊)

区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	延入室者数	貸出冊数								
閲覧室	328,555	176,305	208,180	168,980	190,251	188,413	138,023	177,306	284,146	172,387
児童図書室	102,180	148,425	87,359	134,026	97,959	188,413	63,317	156,173	101,575	152,428
計	430,735	324,730	295,539	303,006	288,210	346,176	201,340	333,479	385,721	324,815
1 平 日 均	1,549	1,168	1,067	1,094	974	1,170	—	1,119	1,312	1,105

※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の延入室者数はカウントされていない。



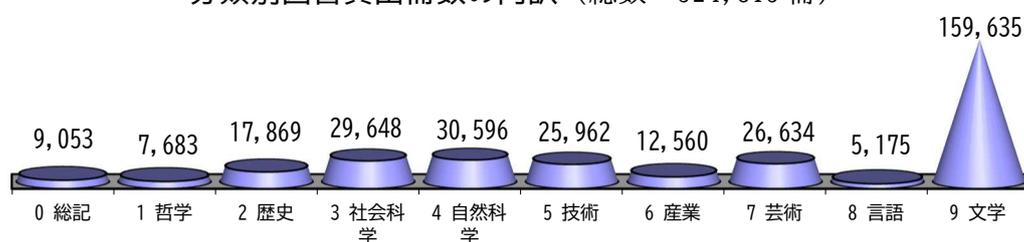
ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数（令和 5.4.1～令和 6.3.31 開館日数 294 日）
単位（人・冊）

区分	入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳	680	46,969		2.3	160
	7 歳～12 歳	614	42,571		2.1	145
	13 歳～15 歳	135	2,853		0.5	10
	16 歳～18 歳	154	1,844		0.5	6
	19 歳～22 歳	251	4,379		0.9	15
	23 歳～	3,989	226,199		13.6	769
計	352,033	5,823	324,815	1,197	19.8	1,105
累計 （昭和 63 年度以降）	18,797,788	309,387	13,731,801			

エ 分類別図書貸出冊数（令和 5.4.1～令和 6.3.31 開館日数 294 日） 単位（冊）

分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均
0 総記	7,382	1,671	9,053	31	6 産業	9,586	2,974	12,560	43
1 哲学	6,637	1,046	7,683	26	7 芸術	16,545	10,089	26,634	91
2 歴史	13,523	4,346	17,869	61	8 言語	3,432	1,743	5,175	18
3 社会科学	23,822	5,826	29,648	101	9 文学	54,436	105,199	159,635	543
4 自然科学	17,375	13,221	30,596	104					
5 技術	19,649	6,313	25,962	88	合計	172,387	152,428	324,815	1,105

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 324,815 冊）



オ 相互貸借件数（令和 5.4.1～令和 6.3.31 開館日数 294 日） 単位（件）

区分	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
令和 5 年度	0	433	188	621

カ AVコーナー資料の利用状況の推移
〈ビデオソフト〉

単位（本）

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用本数	3,311	1,627	922	1,341	2,288
1 日平均	12	6	5	5	7

※ AVコーナーは、令和 2 年 5 月から令和 4 年 2 月まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4 台の機器で運用していたが、県の医療非常事態宣言が解除されたことに伴い、座席制限を解除し、令和 5 年 2 月から 6 台の機器で運用している。

キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）（令和5年度）

単位（件・人）

利用件数	21	利用人数	185
------	----	------	-----

② その他サービス等

ア 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉(令和5年度)

単位(件)

区分	対面	電話	FAX	Eメール	文書等	計
件数	4,924	1,296	1,085	210	5	7,520

〈相談事例〉

- ・ 宮崎県の「じゃんけんぽん」の方言を知りたい。
- ・ 宮崎県立図書館の歴代の館内図が分かる文献を知りたい。
- ・ 宮崎県西諸県郡高原町の祓川神楽について知りたい。
- ・ アメリカ人男性の足やふくらはぎ、腹囲の平均について教えてほしい。

イ YA(ヤングアダルト)サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成17年度から青少年コーナーを設置している。平成20年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約5,700冊）



青少年コーナー

ウ 児童サービス

○ 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、図書館職員やボランティア団体による絵本の読み聞かせ紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

〈読み聞かせ利用者数〉（令和5年度）

単位(人)

曜日	実施回数	内 訳		計	1回当たり
		こども	大人		
火曜日	43	206	214	420	9.8
水曜日	45	273	266	539	12.0
土曜日	98	693	544	1,237	12.6
計	186	1,172	1,024	2,196	11.8



読み聞かせの様子

○ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約 350 冊）

エ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌、資格取得関連図書等を配架している。

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成 22 年 4 月 1 日）を締結している。令和 2 年度は、宮崎県立図書館を会場として四者によるセミナー等を実施したが、令和 3 年度以降は新型コロナウイルス感染拡大のため実施しておらず、現在も再開していない。



ビジネス関連雑誌コーナー



資格取得関連資料・ビジネス関連情報誌

オ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

- 「声に出して言葉を楽しもう会」の実績
令和5年10月31日（木）参加者7人
令和6年1月26日（金）参加者9人



健康情報サービスコーナー

カ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

閲覧室内に「読む」サポートコーナーを設け、マルチメディアデジ（文章を音声で聞きながらパソコン画面上で絵や写真を見ることができる）、LLブック（写真、絵記号、分ち書きなどを用いた視覚的に分かりやすい本）などを設置し、通常の本では読書が困難な利用者に対する支援を行っている。

- 視覚障がい者等サービス利用登録者
令和5年度（新規） 2人
令和5年度末計 28人
- 視覚障がい者等サービス延べ利用数
令和5年度 523点



「読む」サポートコーナー

キ パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者へ供している。

〈利用者数〉（令和5年度）

- ・ インターネット専用パソコン 延べ1,692人
- ・ 持込用パソコン席 延べ4,447人
- ・ データベース席 延べ258人

〈当館で利用できる有料データベース〉

データベース名	内 容
宮日データベース	2001年4月以降に掲載された宮崎日日新聞の記事をキーワード検索
宮崎県郷土紙デジタルアーカイブ	明治26年8月以降の宮崎県郷土紙を閲覧
官報情報検索サービス	1947年5月3日分から当日発行分までの官報の内容を日付やキーワードを指定して検索・閲覧

Westlaw Japan	日本の法令、判例の文献情報を検索
ジャパンナレッジ	70以上の辞事典、叢書、雑誌を検索
ルーラル電子図書館	『現代農業』や『季刊地域』など、農文協が発行した雑誌や書籍を閲覧
JDreamIII	国内外の科学技術や医学薬学関係の文献情報を検索



インターネット専用パソコン



データベース専用パソコン



持込用パソコン席

ク 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	4,267	2,880	2,749	2,989	2,751
枚 数	33,898	22,841	27,815	25,561	25,076

ケ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な[※]レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※ レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

○ 法律相談

- ・ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日）
 - 令和5年度実施数 10回（5月は申込みゼロのため中止）
 - 令和5年度参加者数 18名
- ・ 県下一斉無料相談会
 - 令和6年2月17日（土） 相談者数128名

○ 不動産相談

不動産無料相談会

- 令和5年4月8日（土） 相談者数14名 相談件数16件
- 令和5年11月11日（土） 相談者数23名 相談件数28件

○ ランタンのつどい

自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）

- 令和5年度 実施数12回 参加者数74名

○ まちの保健室

- 相談者数（令和5年度） 延べ643人

○ 令和5年度がんサロン

- 令和6年2月18日（日） 参加者25人

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

やまびこ文庫は、市町村・団体支援用専門資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援等を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和5年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,200
日之影町	日之影町立図書館	900	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	300	木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	60
合 計					11,160

〈学校支援事業〉

令和5年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	学校名	貸出冊数	市町村名	学校名	貸出冊数
高千穂町	押方小学校	360	椎葉村	椎葉小学校	630
	田原小学校	900		尾向小学校	630
	岩戸小学校	1,500		不土野小学校	1,500
	上野小中学校	1,500		大河内小学校	560
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		松尾小学校	1,200
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	990		椎葉中学校	450
	三ヶ所小学校	1,500		明星視覚支援学校	240
	坂本小学校	1,500	赤江まつばら支援学校	360	
	上組小学校	1,200	みなみのかぜ支援学校	750	
	五ヶ瀬中学校	525	清武せいりゅう支援学校	1,200	
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200	宮崎海洋高等学校	400	
諸塚村	諸塚小学校	1,170	都城市	都城さくら聴覚支援学校	630
	荒谷小学校	600	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
日之影町	日之影中学校	750	日向市	日向ひまわり支援学校	900
西米良村	西米良中学校	600	新富町	児湯るびなす支援学校	600
美郷町	美郷北義務教育学校	900	小林市	小林こすもす支援学校	600
	美郷南学園	840	合 計		28,635

イ 市町村・団体支援用専用資料での貸出による支援

市町村・団体支援用専用資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉

令和5年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
美郷町	美郷町立北郷図書館	110	宮崎市	高岡農村環境改善センター図書室	346
都農町	都農町民図書館	604	小林市	小林市立図書館	9
合 計					1,069

〈児童教育施設等支援事業〉（令和6年4月1日現在）

単位（施設・冊）

登録施設数	25	貸出冊数	5,704
-------	----	------	-------

② セット文庫

町村立図書館・室及び町村立学校、県立特別支援学校を対象にセット組された資料を貸し出し、読書環境整備や調べ学習を支援する。令和3年度に要項を一部改訂し、令和4年度から運用を開始した。

令和5年度 貸出冊数

単位（冊）

図書館・図書室名		貸出冊数	学校名		貸出冊数
美郷町	美郷町立西郷図書館	475	国富町	国富町立森永小学校	114
	美郷町立北郷図書館	428		国富町立八代小学校	38
高千穂町	高千穂町立図書館	454		国富町立木脇中学校	35
都農町	都農町民図書館	45	都農町	都農町立都農南小学校	30
椎葉村	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	80	高原町	高原町立高原中学校	80
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	100	合 計		1,879

③ 子育て支援図書セット貸出

専門家による評価や利用者の声などを参考に選書した育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館（室）へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

〈令和5年度 貸出冊数 900 冊〉

市町村名	図書館・図書室名	市町村名	図書館・図書室名
高千穂町	高千穂町立図書館	都農町	都農町民図書館
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	美郷町	美郷町立西郷図書館
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室		美郷町立北郷図書館
日之影町	日之影町立図書館		美郷町立南郷図書館
高鍋町	町立高鍋図書館	高原町	高原町中央公民館図書室

④ 団体文庫

〈令和5年度 利用実績〉（令和6年4月1日現在登録団体数 24 団体）

利用実績	3,511（貸出冊数＋読書振興室利用回数）
------	-----------------------

(4) 図書館ネットワーク事業

県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス）による県立図書館資料の市町村等への貸出実績

〈令和5年度 貸出状況〉

① 公共図書館・室

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎市立佐土原図書館	66	都農町民図書館	161
都城市立図書館	270	門川町立図書館	43
都城市立高城図書館	9	美郷町立西郷図書館	275
延岡市立図書館	219	美郷町立北郷図書館	140
延岡市立図書館北方分館	14	美郷町立南郷図書館	50
延岡市立図書館北浦分館	7	高千穂町立図書館	154
延岡市立図書館北川分館	5	宮崎市田野公民館図書室	8
日南市立図書館	434	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	77
小林市立図書館	110	都城市山之口地区公民館図書室	4
日向市立図書館	280	都城市山田総合センター図書室	90
串間市立図書館	103	都城市高崎たちばな学び館	24

西都市立図書館	82	高原町中央公民館図書室	35
えびの市民図書館	38	西米良村立図書室	7
三股町立図書館	109	木城町総合交流センターリバリス図書室	100
国富町立図書館	244	諸塚村中央公民館図書室	8
綾てるは図書館	143	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	12
町立高鍋図書館	151	日之影町立図書館	287
新富町図書館	111	五ヶ瀬町教育委員会図書室	109
川南町立図書館	36	小 計	4,015

② 県立学校

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
県立五ヶ瀬中等教育学校	75	県立宮崎西高等学校	175
県立日向高等学校	11	県立福島高等学校	3
県立富島高等学校	10	県立都城泉ヶ丘高等学校	187
県立宮崎南高等学校	0	県立延岡星雲高等学校	12
県立佐土原高等学校	52	県立高千穂高等学校	0
県立宮崎商業高等学校	199	県立飯野高等学校	18
県立日南振徳高等学校	13	県立小林高等学校	57
県立都城農業高等学校	3	県立延岡商業高等学校	7
県立宮崎北高等学校	101	県立宮崎工業高等学校	0
県立高鍋高等学校	0	県立高鍋農業高等学校	0
県立宮崎東高等学校	0	県立本庄高等学校	6
県立妻高等学校	48	県立宮崎海洋高等学校	29
県立日向工業高等学校	15	小 計	1,021

③ 大学

単位（冊）

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎大学附属図書館本館	21	県立看護大学	2
宮崎大学附属図書館医学分館	0	小 計	23

単位（冊）

①～③の合計	5,059
--------	-------

(5) 訪問支援

平成 28 年度から、市町村図書館・室や県立学校等に対し、図書館等の運営に係る支援や助言を行う訪問支援を開始した。訪問支援は、全市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和 5 年度の定期訪問は、全市町村図書館・室を対象とし、45 回行った。また、要請訪問の依頼は 6 件あった。

<令和 5 年度訪問状況>

① 定期訪問

期 日	訪問施設名	期 日	訪問施設名
5 月 23 日	宮崎市田野地区交流センター図書室	9 月 13 日	都城市立高城図書館
5 月 24 日	木城町総合交流センターリパリス図書室	9 月 20 日	延岡市立図書館北方・北浦分館
	西都市立図書館	9 月 22 日	都城市山之口地区公民館図書室
5 月 26 日	新富町図書館		都城市高崎たちばな学び館
		川南町立図書館	9 月 26 日
5 月 31 日	宮崎市高岡地区交流センター図書室	宮崎市立佐土原図書館	
6 月 2 日	高原町中央公民館図書室	9 月 27 日	えびの市民図書館
6 月 5 日	高千穂町立図書館	9 月 29 日	串間市立図書館
6 月 8 日	五ヶ瀬町教育委員会図書室	10 月 3 日	美郷町立図書館（南郷）
6 月 14 日	日南市立図書館（本館・北郷）	10 月 4 日	国富町立図書館
6 月 16 日	西米良村立図書室	10 月 11 日	都農町民図書館
6 月 19 日	綾てるは図書館	10 月 13 日	諸塚村教育委員会図書室
6 月 21 日	小林市立図書館（本館・野尻分館・須木分館）	10 月 17 日	宮崎市清武文化会館図書室
6 月 22 日	門川町立図書館		宮崎市きよたけ児童文化センター図書室
6 月 26 日	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	10 月 18 日	町立高鍋図書館
6 月 27 日	美郷町立図書館（北郷・西郷）	10 月 20 日	日向市立図書館
6 月 28 日	日南市立図書館（まなびピア・南郷）		延岡市立図書館北川分館
7 月 5 日	都城市山田総合センター図書室	10 月 24 日	都城市立図書館
9 月 4 日	日之影町立図書館	10 月 27 日	延岡市立図書館
9 月 8 日	三股町立図書館		

② 要請訪問

対 象	期 日	要請依頼施設名（要請内容）
市町村立図書館・室	8 月 23 日	五ヶ瀬町教育委員会図書室（読書活動支援）
	9 月 4 日	日之影町立図書館（図書館運営支援）
学 校	6 月 13 日	県立日南くろしお支援学校（読書活動支援）
	8 月 22 日	国富町立森永小学校（読書活動支援）
	8 月 28 日	国富町立八代小学校（学校図書館運営支援）
	8 月 29 日	県立日南くろしお支援学校（読書活動支援）

(6) アドバイザー派遣

各図書館・室の要望に応え県立図書館職員を講師として派遣した。

〈令和5年度派遣状況〉

派遣日	希望館・室	派遣メニュー
9月28日	都農町民図書館	県立図書館を利用したレファレンス
11月1日	門川町立図書館	複写サービスに関する著作権
11月6日	西都市立図書館	ブックピクニックの運営方法
11月15日	三股町立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (アニメーションの基礎)
11月21日	宮崎市立佐土原図書館	県立図書館を利用したレファレンス
11月24日	川南町立図書館	Web情報を活用したレファレンス
11月29日	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	地域資料・行政資料の収集と活用
12月1日	小林市立図書館	図書館における著作権
1月5日	延岡市立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (ブックトークの基礎)
1月15日	新富町図書館	県立図書館を利用したレファレンス
1月15日	日之影町立図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (ブックトーク、読み聞かせの実演)
1月31日	えびの市民図書館	子どもたちの読書活動の重要性 (アニメーションの基礎)

(7) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出、及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

令和5年度	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出件数	利用回数	利用者数
合計	28	22	1,696	15	19	747

② 視聴覚行事

〈映写会〉

ア 図書館子ども映写会

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月7日(日)	「ブレーメンの音楽隊」「勇気の花がひらくとき」	35
合 計			35

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	7月8日(土)	「コーダ/あいのうた」	59
2	9月13日(水)	「ぼけますから、よろしくお願ひします。」	150
3	1月17日(水)	「ビッグ・リトル・ファーム 理想の暮らしのつくり方」	72
4	3月6日(水)	「医師 中村哲の仕事・働くということ」	84
合 計			365

〈メモリアル宮崎～郷土を知ろう～〉

これまでの宮崎県の歩みを知り、興味をもつきっかけになるよう、本館所蔵の郷土に関する貴重な16ミリフィルムの上映会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	11月28日(火)～12月3日(日)	ギャラリー展「メモリアル宮崎」	71
2	12月13日(水)	「山に生きるまつり」	36
合 計			107

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	6月18日(日)	レコードコンサート 「親しみのある名曲特集」	58
2	11月5日(日)	宮崎大学管弦楽団による生演奏・県立図書館職員による読み聞かせ	194
合 計			252



レコードコンサートの様子



生演奏コンサートの様子

(8) 閲覧室内展示

① 特設展示コーナー

閲覧室入口近くにコーナーを設け、各担当が掲げたテーマに関する書籍の紹介を行った。

回	期 間	特設展示コーナー内容	担 当
1	4月4日～5月8日	G7の文化	情報提供
2	5月9日～6月4日	レコード展示	普及
3	6月6日～7月2日	時の展示	郷土
4	7月4日～8月6日	箱展	資料管理
5	8月8日～9月10日	ふね 舟 船 艦	郷土
6	9月12日～10月9日	日本の鉄道	郷土
7	10月11日～11月12日	黒潮はくぶつかん	情報提供
8	11月14日～12月17日	人権に関する展示	情報提供
9	12月19日～1月21日	スライドフィルム展示	普及
10	1月23日～2月25日	明治期の書籍 保存と修復	資料管理
11	2月27日～3月31日	新たな学びへのスタート	企画

② 産廃基金コーナー

宮崎県産業廃棄物税基金により購入した環境に関連する資料を集めたコーナー

産廃基金コーナー



③ 企画展示コーナー

月ごとに図書館司書がテーマを設定し、それに合った選書をしている。テーマは、時節に合わせたもの（例：新しい生活や出会い、防災を考える）や社会の動きに合わせたもの（例：芥川賞、直木賞、本屋大賞）にしており、貸し出しも多い。さらに、書庫にある児童文学と絵本を展示しているコーナーもある。書庫の児童文学や絵本は、児童室の貸し出し5冊に含まれないことから、たくさんの本を借りたい利用者の利用が多い。また、児童室が閉館する17時以降の利用も多い。

このほか、新着資料コーナー横では、図書館司書や名誉館長のおすすめ本をポップや解説文とともに展示し、貸し出しを行っている。

④ 博物館との連携展示

博物館が主催する夏と秋の特別展に合わせて関連展示を行った。

期 間	展示コーナー内容
5月2日～6月11日	第43回SSP展
7月19日～8月27日	特別展 レトロ to ミライ
10月17日～11月26日	特別展 黒潮はくぶつかん



レトロ to ミライ展の展示風景

(9) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業）

「安心と希望の未来への展望」を実現するためには、主役となる県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催するもので、行政が一体となることでより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

〈令和5年度実績〉 ◎主催 ○共催

節	内 容	期 日
1	・G7宮崎農業大臣会合絵画・ポスターコンクール展（総合政策課G7宮崎農業大臣会合推進室）	4月5日(水)～ 4月16日(日)
2	◎こどもの読書週間企画展（県立図書館）	4月18日(火)～ 5月7日(日)
3	・インフラストック効果パネル展（技術企画課）	5月10日(水)～
	・『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク』&『霧島ジオパーク』の魅力（中山間・地域政策課）	5月21日(日)
4	・みどりの特別企画展～6月は環境月間です！～（環境森林課）	5月24日(水)～
	・令和5年度「土砂災害防止月間」パネル展（砂防課）	6月4日(日)
5	・県民との協働パネル展（生活・協働・男女参画課）	6月7日(水)～
	・思春期こころの健康（障がい福祉課）	6月18日(日)
6	・男女共同参画パネル展（生活・協働・男女参画課）	6月21日(水)～
	・NOSA I「宮崎の農村」写真コンテスト（農政企画課）	7月2日(日)
7	・美しい宮崎づくりパネル展（都市計画課）	7月5日(水)～
	・宮崎の古墳文化パネル展（文化財課）	7月17日(月)
8	・統計グラフコンクールの作品展（統計調査課）	7月20日(木)～
	・ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	7月30日(日)
9	・農畜水産業の技術最前線（農業普及技術課）	8月1日(火)～ 8月13日(日)
10	・みやぎき食品ロス削減パネル展（循環社会推進課）	8月16日(水)～
	・森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	8月27日(日)
11	・土呂久公害の教訓を次世代に引き継ぐための環境教育パネル展（環境管理課）	8月30日(水)～
	・中山間地域をみんなで支える県民運動（中山間・地域政策課）	9月10日(日)
12	○NHK大河ドラマ「どうする家康」全国巡回展（県立図書館）	9月12日(火)～ 9月18日(月・祝)
13	○宮崎・学生ビジネスプランコンテスト関連企画展（県立図書館）	9月26日(火)～ 10月15日(日)
14	◎秋の読書週間企画展（県立図書館）	10月17日(火)～ 11月5日(日)
15	・犯罪被害者支援に関する企画展（警察本部県民広報課）	11月8日(水)～
	・女性に対する暴力をなくす運動パネル展（生活・協働・男女参画課）	11月26日(日)

16	◎メモリアル宮崎（県立図書館）	11月28日(火)～ 12月3日(日)
17	・シニアパワー宮崎づくり企画展（長寿介護課）	12月6日(水)～
	・里親制度普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン（こども家庭課）	12月24日(日)
18	・人権啓発パネル展（人権同和対策課）	1月11日(木)～
	・宮崎県営水力発電の歴史（企業局総務課）	1月28日(日)
19	・令和5年度「税に関する絵はがきコンクール」作品展示（税務課）	2月15日(木)～
	・がん検診受診率向上パネル展（健康増進課）	2月25日(日)
20	・サイバー犯罪被害防止パネル展（警察本部サイバー犯罪対策課）	2月28日(水)～
	・省エネルギー月間展 未来のため身近な省エネに取り組もう！（環境森林課）	3月10日(日)
21	・みやぎきの「ひと」（みやぎき文化振興課）	3月13日(水)～
	・ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	3月24日(日)
		合計 35 事業



ギャラリー展の展示風景

② 県内公共図書館（室）における巡回展
〈令和5年度実績〉

	場 所	内 容	時 期
1	宮崎市立佐土原図書館	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	5月
		統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	8月
		祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力（中山間・地域政策課）	11月
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	9月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展（農政企画課）	2月
3	宮崎市高岡地区農村環境改善センター図書室	森林・林業にふれてみませんか！（森林経営課）	11月
4	延岡市立図書館	ふるさとの水辺発表会（環境管理課）	6月・7月
		犯罪被害者支援に関する企画展（警察本部県民広報課）	12月
		統計グラフコンクール作品展（統計調査課）	1月・2月
		ご存じですか、高次脳機能障がい（障がい福祉課）	2月

5	日南市立図書館(本館)	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと(企業局総務課)	6月・7月
		ふるさとの水辺発表会(環境管理課)	10月・11月
6	日南市立まなびピア図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	7月
7	日南市立北郷図書館	もっとよく知りたい再生可能エネルギーのこと(企業局総務課)	10月
8	日南市立南郷図書館	犯罪被害者支援に関する企画展(警察本部県民広報課)	5月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展(農政企画課)	6月
		宮崎の古墳文化パネル展(文化財課)	7月・8月
9	日向市立図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展(農政企画課)	7月
		ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	10月
10	西都市立図書館	美しい宮崎づくりパネル展(都市計画課美しい宮崎づくり推進室)	5月
		犯罪被害者支援に関する企画展(警察本部県民広報課)	7月
		祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力(中山間・地域政策課)	9月
		みやざき食品ロス削減パネル展(循環社会推進課)	11月・12月
		ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	2月
11	えびの市民図書館	霧島ジオパークの魅力(中山間・地域政策課)	2月・3月
12	三股町立図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	8月
		宮崎の古墳文化パネル展(文化財課)	9月
13	綾てるは図書館	みやざき食品ロス削減パネル展(循環社会推進課)	6月
14	新富町図書館	祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力(中山間・地域政策課)	6月・7月
		ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	9月・10月
15	川南町立図書館	霧島ジオパークの魅力(中山間・地域政策課)	8月
16	都農町民図書館	宮崎の古墳文化パネル展(文化財課)	5月
		統計グラフコンクール作品展(統計調査課)	6月
		霧島ジオパークの魅力(中山間・地域政策課)	7月
		ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	11月
		NOSA I「宮崎の農村」写真展(農政企画課)	2月・3月
17	門川町立図書館	みやざき食品ロス削減パネル展(循環社会推進課)	11月
18	諸塚村中央公民館図書室	みやざき食品ロス削減パネル展(循環社会推進課)	7月・8月
		ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)	12月
19	高千穂町立図書館	統計グラフコンクール作品展(統計調査課)	5月
		宮崎の古墳文化パネル展(文化財課)	8月
			合計 19館(室) 41事業

(10) 文化活動事業

① 第 65 回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を企画し実施した。

期 間 令和5年4月18日(火)～5月7日(日)

内 容

ア 企画展示1「いのちをみつめて～平和をつたえるこどもの本～」

内 容：戦争と平和をテーマにしたパネル展示及び絵本の紹介

イ 企画展示2「児童図書室紹介コーナー」

内 容：児童図書室で多く読まれた本20冊、読み聞かせボランティア、かば先生文庫などの紹介

ウ 特別おはなし会Ⅰ「外国語で絵本を楽しもう」

内 容：宮崎公立大学外国語読み聞かせ部による英語の絵本の読み聞かせと手遊び歌

エ 特別おはなし会Ⅱ「みんなでなかよくブレーメンの音楽隊」

内 容：児童図書室職員による朗読劇

オ 絵本ワークショップ「エコな絵本をつくろう～牛乳パックでくるくる絵本！～」

内 容：児童図書室職員によるワークショップ

カ おはなし会

内 容：ボランティア団体、図書館職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ



企画展の展示風景



特別おはなし会の様子



絵本ワークショップの様子

② 第 77 回「秋の読書週間」関連行事

毎年10月27日の「読書の日」を初日として、この日から11月9日までの期間は「秋の読書週間」とされており、子どもから大人まで様々な世代が本に親しみ、読書を楽しむことを通じて文化を育むための啓発期間である。

県立図書館においても、「宮崎県の図書館・図書室歩き」と題し、情報提供に御協力いただいた30館9室の図書館・図書室を紹介する展示を行った。参加型の展示として「あったらいいな。こんな図書館」という掲示板を設置した。また、期間中に「おとなのためのおはなし会」を3日間実施し、3日間で50名以上の参加があった。

また、10月28日(土)には、読書会「初めて読む中村地平作品」を開催した。講師に宮崎大学名誉教授の岡林稔氏を迎え、10名の参加者が指定作品の『南方郵信』『霧の蕃社』について、読んだ感想や作品の魅力などを語り合った。

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。令和5年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

〈特別展〉

日豊本線（小倉～吉松間）開通100周年記念「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」

期 間 令和5年9月23日(土)～10月29日(日) 開催日数：33日

内 容 本県の鉄道敷設の歴史について、当時の政治や行政の動きを県会（現県議会）史料や新聞記事などを通して紹介し、日豊本線（小倉～吉松間）の開通により本県ではどのような影響があったのかを紹介する展示会を開催した。



特別展「宮崎の鉄道」の展示風景

「若山牧水」～牧水と震災～

期 間 令和5年11月1日(土)～12月10日(日) 開催日数：26日

内 容 関東大震災発生から100年を迎え、沼津でこの大震災に遭遇した歌人・若山牧水を通して、自然と人間の関係について改めて考えてもらえる機会とするための展示会を開催した。

〈企画展〉

「日本の近代と宮崎県人」

期 間 令和6年1月13日(土)～3月10日(日) 開催日数：40日

内 容 令和6年は日露戦争開戦から120年目の節目となる。その戦争に関係し、明治日本の命運を担った人々の中に飢肥出身の外務大臣小村寿太郎と、都城出身の陸軍第四軍参謀長上原勇作の2人の宮崎県人がいた。この2人の業績を紹介する展示会を開催した。

〈特別企画展〉

「作家 中村地平」

期 間 令和6年3月23日(土)～3月31日(日) 開催日数：8日間

内 容 ドキュメンタリー映画「中村地平」の試写会にあわせて、当館の23代館長

でもある中村地平に関する展示会を開催した。中村地平のプロフィールを紹介するとともに、平成20年3月に当館に中村家から寄贈された資料を展示した。

〈巡回展〉

会場・期間 ○ 巡回展「中近世の日向国」

美郷町立北郷図書館・・・・・・・・・・4月25日（火）～5月21日（日）
日向市立図書館・・・・・・・・・・5月30日（火）～6月25日（日）
宮崎日本大学中学校・高校・・・・・・・・7月3日（月）～7月21日（金）
宮崎大学附属図書館・・・・・・・・・・7月24日（月）～8月18日（金）
日南市立南郷図書館・・・・・・・・・・8月30日（水）～9月24日（日）
日南市立図書館・・・・・・・・・・9月30日（土）～10月17日（火）
門川町立図書館・・・・・・・・・・11月7日（火）～11月30日（木）
三股町立図書館・・・・・・・・・・12月5日（火）～12月24日（日）
西都市立図書館・・・・・・・・・・1月10日（水）～2月4日（日）
宮崎市立佐土原図書館・・・・・・・・・・2月14日（水）～3月11日（月）

○ 巡回展「生命を守る」

宮崎市立図書館・・・・・・・・・・8月23日（水）～9月4日（月）
日南市立まなびピア図書館・・・・・・・・9月5日（火）～9月18日（月）
都農町民図書館・・・・・・・・・・10月4日（水）～10月29日（日）
日南市立図書館・・・・・・・・・・12月15日（金）～1月10日（水）

○ 巡回展「宮崎のダム」

日南市立北郷図書館・・・・・・・・・・5月3日（水）～5月28日（日）
延岡市立図書館北方分館・・・・・・・・6月6日（火）～6月25日（日）
椎葉村図書館「ぶん文 Bun」・・・・・・11月8日（水）～11月26日（日）

内 容 令和2年度に実施した企画展「宮崎のダム」、令和3年度に実施した特別展「生命を守る」、令和5年度に実施した特別展「中近世の日向国」を再構成し、県内の市町村立図書館や資料館等公共施設で実施した。

〈共催展〉

「遺跡発掘成果展2023『再発見！1990年代調査の遺跡～県北編～』

期 間 令和5年8月18日（金）～9月3日（日） 開催日数：15日

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターが、1990年代に発掘調査を行った県北の遺跡から出土した遺物を、宮崎県埋蔵文化財センターとの共催で展示した。

「1979年（昭和54年）日本のふるさと宮崎国体展」

期 間 令和5年7月22日（土）～8月10日（木） 開催日数：18日間

内 容 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員

会が、2027年開催予定の国スポ・障スポ大会に向けての県民の気運醸成を図るために、1979年に開催された「日本のふるさと宮崎国体」の資料やパネル等を共催で展示した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールにおいて次のとおり実施した。

受講者計 46 名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	9月23日(土)	「日豊本線開通 100 年-鉄道ブームに沸いた大正期-」	松浦 祥雄 氏 (郷土史研究家)	11 名
2	10月21日(土)	「宮崎の動物の天然記念物」	岩本 俊孝 氏 (宮崎大学名誉教授)	8 名
3	11月18日(土)	「太宰治と中村地平-北方文学と南方文学」	岡本 稔 氏 (宮崎大学名誉教授)	27 名



第3回文化講座の様子

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料等をテキストとして利用して、古文書解読の講座を実施した。

受講者計 121 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6月3日(土)	近世文書を読んでみよう	那賀 教史 氏 (県史料筆耕解読員)	37 名
2	7月1日(土)	「鶴戸詣道の記」		32 名
3	8月5日(土)	近世文書を読んでみよう	柘植 幹雄 氏 (県史料筆耕解読員)	27 名
4	9月2日(土)	「惟久公覽府御越」		25 名

(11) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和 49 年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和 5 年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（二十五）』を刊行した。（100 部）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

昭和 49 年度から「宮崎県地方史講座」として解説し、平成 19 年度から地域の歴史のみならず、自然科学などの分野にも範囲をひろげることにより、幅広い文化の発信と理解を目指して『宮崎県文化講座』と改称した。本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和 5 年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第 50 輯』を刊行した。（100 部）

③ デジタルアーカイブ事業

1,237 点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。令和 5 年度は 262 点、10,016 コマを公開した。

(12) 広報活動等

① 「緑陰通信」発行事業

昭和 25 年から、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。
令和 5 年度は、No. 239（6 月）及び No. 240（2 月）を発行した。

② ホームページ等活用事業



県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、ホームページにて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用した情報発信にも取り組むため、平成 28 年度からフェイスブック、令和 4 年度からインスタグラムページを開設し、随時情報発信を行っている。

〈主な内容〉

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索、県内公共図書館等の横断検索（当館を含む23館が参加(R6.3.1時点)）
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・電子メールによるレファレンス
- ・インターネットを經由した資料貸出予約申込み

〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数	320,790	243,672	273,502	196,485	323,076

※1 令和2年度については、システム入替えのため、令和3年2月中旬から下旬までの件数はカウントされていない。

※2 令和4年度については、カウンター不具合のため、令和4年12月から1月までの件数はカウントされていない。

〈フェイスブックページアクセス件数・フォロワー数〉 単位（件・人）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アクセス件数	20,258	19,054	25,618	29,406	35,145
フォロワー数	488	530	601	649	673



〈インスタグラムページアクセス件数・フォロワー数〉 単位（件・人）

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アクセス件数				1,326	11,515
フォロワー数				104	325



※ 令和4年度については、運用を開始した10月から3月までのカウントである。

③ 職場体験学習・施設見学

〈職場体験学習〉 単位（人）

実施日	内 容	参加者数
8月21日～8月22日	県庁インターンシップ	4
8月28日～9月5日	司書実習（宮崎学園短期大学）	4
9月7日～9月8日	教育研修センター派遣研修	3
9月12日～9月14日	職場体験学習（宮崎市立大宮中学校）	3
10月17日～10月19日	インターンシップ（宮崎農業高校）	1
合 計		15

〈施設見学〉

単位（人）

実施日	団体名	参加者数
5月19日	宮崎市立潮見小学校	78
6月20日	野の花保育園	42
7月6日	宮崎公立大学	11
7月26日	妻児童クラブ	30
10月26日	延岡市立北方学園	11
10月27日	国富町立本庄小学校	75
11月7日	新富町立富田小学校	119
11月8日	田園の里新田学園（新富町立新田小・中学校）	32
11月9日	宮崎市立潮見小学校（家庭支援学級）	3
	西都市あさひ幼稚園	26
11月17日	西都市立三財小学校	22
	宮崎市立高岡小学校	79
11月22日	宮崎市立江平小学校	148
12月8日	高原町立広原小学校（家庭支援学級）	9
12月15日	宮崎大学教育学部附属小学校	35
2月15日	ドンボスコ保育園	23
2月16日	みなみ幼稚園	29
3月8日	宮崎大学教育学部附属中学校	171
3月19日	認定こども園ソレイユ	33
合計		976

(13) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、児童図書の寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生コーナー」（平成25年4月29日開設）を設けて12年目を迎えた。

〈かば先生文庫整備数〉（令和6年3月31日現在）

2,083冊 内訳 児童図書室 834冊
B M 書庫 1,249冊

(14) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催又は県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 宮崎県立図書館名誉館長就任 10 周年記念講演会

主催：県立図書館

当館の伊藤一彦名誉館長が平成 25 年 4 月の就任から 10 年を迎えたことを記念する講演会を開催し、歌人としての文芸活動等で著名な名誉館長が自らの豊富な読書経験や読書への思いなどを語ることを通じて、読書への注目や関心を高めるきっかけとした。

(会場：研修ホール)

期 日	演 題	講 師	参加者
10 月 7 日(土)	「読書と人生 — 私の体験から」	名誉館長 伊藤 一彦 氏 (歌人、牧水研究会会長)	49 名



記念講演会の様子

② 郷土の作家「中村地平」— 試写会と館歌披露 —

主催：県立図書館

本県出身の作家で、当館の第 23 代館長を務めた中村地平 (1908～1963) の功績をたたえ、地平のドキュメンタリー映画の試写会と、地平が黒木清次と共同で作詞した県立図書館歌の独唱披露を開催した。また、映画制作にあたっての取材協力を行った。

(会場：研修ホール、視聴覚室)

期 日	内 容	演 者	参加者
3 月 23 日(土)	10:00～12:00 映画「中村地平」試写会 (90 分) と小松氏の アフタートーク (午前の回)	映画脚本・監督 小松 孝英 氏 (美術家)	139 名
	13:00～14:00 館歌独唱披露と楽曲のライブコンサート	声楽家 松本 英樹 氏 (県立妻高等学校音楽科教諭) トランペット奏者 井手 茂貴 氏 (県警察音楽隊元隊長) ピアニスト 安部 まり 氏	61 名
	14:30～16:30 映画「中村地平」試写会 (90 分) と小松氏の アフタートーク (午後の回)	映画脚本・監督 小松 孝英 氏 (美術家)	145 名



試写会後のアフタートークの様子



館歌披露と音楽会の様子

③ 「第11回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」

共催：日本政策金融公庫熊本創業支援センター

県内の高校生及び高等専門学校生が事業計画作成について学ぶことを通して、大学生や社会人としてのプラン作成スキル等を習得することを目的としたビジネスプラン作成講座を開催した。

期 日	内 容	講 師	参加者
7月29日(土)	「ビジネスアイデア発想（基礎編）」	日本政策金融公庫職員	8名
	「ビジネスアイデア発想（応用編）」		
	「図書館活用講座・館内見学」	県立図書館職員	
	「ビジネスプラン作成（実践編）」	日本政策金融公庫職員	
	「ビジネスプラン作成（ブラッシュアップ編）」	日本政策金融公庫職員	
	「ビジネスプラン発表」	県立図書館職員	

④ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室)

期 日	演 題	講 師	参加者
1 5月20日(土) (第57回)	トーク・セッション「ドイツ語音読会で『カント著：永遠の平和のために』を読了して」	芝 良祐 氏 (みやざき自然塾理事) 竹川 昭男 氏 (元 宮崎大学ドイツ語教師) 足立 泰二 氏 (みやざき自然塾長・理事長)	23名
2 7月15日(土) (第58回)	自然共生社会(持続型社会)を探り続ける綾町のあゆみ	河野 耕三 氏 (綾町 BR[ユネスコ・エコパーク]推進支援員)	32名

3	9月16日(土) (第59回)	言葉って面白い ～ロゴス(言語)とピュシス(自然)への思い～	藺田 潤子 氏 (フリーアナウンサー)	56名
4	11月18日(土) (第60回)	みやぎジオストーリー2023 ～郷土宮崎を知るツールとしての地質学～ ナチュラル・ヒストリーの原点としての本草学 ～地質分野を中心に～	赤崎 広志 氏 (宮崎県総合博物館副館長) 伊藤 謙 氏 (大阪大学総合博物館講師/学 芸員、ナショナルジオグラフ ィック・エクスプローラー)	25名
5	1月27日(土) (第61回)	ロータリーと私 ～とくに宮崎大学の国際貢献に焦点を当てて～	池ノ上 克 氏 (国際ロータリー第2730地区 ガバナー、前宮崎大学長)	25名
6	3月16日(土) (第62回)	宮崎県川南町モーツァルト音楽祭と地域の音楽 文化活動について	中馬 章一 氏 (音楽祭運営委員長、元宮崎県 商工観光労働部長)	37名

⑤ 「宮崎考古学会総会」

主催：宮崎考古学会

宮崎県内の考古学に関する研究、並びにその知識の普及を目的に開催した。

(会場：視聴覚室)

期 日	内 容	講 師	参加者
6月4日(日)	〔講演〕 鬼界アカホヤ噴火が当時の生業に与えた影響 について －九州各地の土器残存脂質分析結果を中心 として－ 〔報告〕 都井岬特設見張所跡の遺構について 宮崎県西都市における水田耕作実験について	アリ・ジュノ 氏 (弘前大学人文社会科学部研 究員) 栗畑 光博 氏 (宮崎考古学会員・九州大学ア ジア埋蔵文化財センター学 術研究者) 内山 純蔵 氏 (金沢大学客員教授) 留野 優兵 氏 (宮崎県埋蔵文化財センター) 松本 茂 氏 (宮崎県立西都原考古博物館)	41名

⑥ 第8回宮崎県高等学校ビブリオバトル大会

主催：ビブリオバトル生徒実行委員会、宮崎県教育委員会

お気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介する知的書評合戦であるビブリオバトルを開催した。第10回全国高等学校ビブリオバトル宮崎県予選大会を兼ねており、出場応募のあった県内の高校生14名(14校)のうち、13名が4グループに分かれて発表した。

(会場：研修ホール、視聴覚室)

期 日	参 加 校 (グループ順、発表順)	発表者
10月14日(土)	都城西高校、宮崎第一高校、五ヶ瀬中等教育学校、佐土原高校、宮崎大宮高校、都城泉ヶ丘高校、宮崎北高校、飯野高校、日向高校、宮崎学園高校、高千穂高校、延岡星雲高校、高鍋高校、宮崎西高校(不出場)	13名

⑦ 「石井光太氏講演会」

主催：宮崎子どもと本をつなぐネットワーク
 子どもへの読書活動推進を目的に、講演会を開催した。
 (会場：視聴覚室)

期 日	演 題	講 師	参加者
10月21日(土)	人生を切り開くための言葉の力 国語力が危ない！～言葉を奪う社会の病理～	石井 光太 氏 (ノンフィクション作家、小説家)	89名

⑧ 令和5年度「いいお産の日 in 宮崎」

主催：公益社団法人宮崎県看護協会
 妊娠中や子育て中の家族が、地域とのつながりの輪を築くとともに、県立図書館の取組の周知と子育て支援に関する資料や児童図書の利用促進を図ることを目的として開催した。
 (会場：研修ホール、視聴覚室)

期 日	内 容	担 当	参加者
11月25日(土)	シンポジウム「いいお産ってどんなお産？」	宮崎県看護協会職員	125名
	絵本の読み聞かせ	県立図書館職員	
	みやぎき犬ダンスショー	宮崎県看護協会職員	
	ベビーマッサージ、足型アート	宮崎県看護協会職員 県助産師会	
	展示、体験コーナー	PORA 県歯科医師会 県立図書館職員	

⑨ 「宮崎の自然」合同研究発表会

主催：宮崎県総合博物館
 県内の自然史を研究する団体が研究成果を発表し合い、その研究を深めるとともに、県民の興味・関心を高めることを目的とした研究発表会を開催した。
 (会場：視聴覚室)

期 日	演 題	講 師	参加者
3月9日(土)	「帰化植物調査の結果から」	斉藤 政美 氏	52名
	「日向灘沿岸の鯨類ストランディング状況 (2023)および鯨類ヘルペスウイルスの検出について」	西田 伸 氏	
	「宮崎市周辺海岸におけるふ化率の分布図作成」	岩本 俊孝 氏	
	「門川町枇榔島における標識調査」	中村 豊 氏	
	「宮崎県のジョウカイボン科について」	木野田 毅 氏	
	「高師小僧は、何者か？ ～鉱物？ 化石？～」	伊東 嘉宏 氏	
	「一登山者の見た新燃岳火山活動の推移(2011～2022年)」	高谷 精二 氏	
	「加久藤カルデラの推移」	白池 凶 氏	
「延岡市東部海岸産出の球状炭酸塩コンクリーション群」	赤崎 広志 氏		

(15) 置県 140 年宮崎県史等デジタル化及び活用推進事業

① 牧水遺墨デジタル化事業

平成 30 年に当館に寄贈された宮崎市の医師だった故小林邦雄氏の収集された若山牧水関連のコレクション（小林邦雄コレクション）のうち、牧水自筆の遺墨 30 点をデジタル化し、当館のデジタルアーカイブにて公開した。

② Webコンテンツ作成事業（「ウィキペディアタウン in 椎葉村」実施事業）

地域の歴史や文化を探訪し、図書館の資料等を活用しながら記事をまとめてインターネットのフリー百科事典「ウィキペディア」に投稿・発表する県民参加型ワークショップイベントであるウィキペディアタウンを椎葉村図書館「ぶん文 Bun」の共催で実施した。

（会場：椎葉村交流拠点 Katerie）

期 日	内 容	講 師	参加者
8月27日（日）	講義 「ウィキペディアを用いた地域情報の編集と発信」 椎葉村内訪問 「旧中瀬淳（村長）邸宅」「椎葉民俗芸能博物館」	是住 久美子 氏 （田原市図書館長） Miya. m 氏 （ベテランウィキペディアン）	12名
	記事テーマ別ワークショップ 「臼太鼓踊り」「椎葉神楽」「柳田國男民俗学」		



旧中瀬淳（村長）邸宅訪問の様子



ワークショップの様子

(16) 大学及び大学図書館との連携

- 宮崎大学との間で「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成 30 年 4 月 1 日付けで締結している。

〈主な実績〉

- ア 宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
- イ 宮崎大学附属図書館における「若山牧水展」企画展示の実施
- ウ マイラインサービスの実施
- エ 相互遠隔地返却サービスの実施（令和 5 年 7 月から）

- 宮崎大学附属図書館、宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）、宮崎県立看護大学附属図書館及び宮崎産業経営大学附属図書館との間で、オンラインによる横断検索システムを接続し運用している。

(17) 研修

図書館職員のスキルアップを図り、図書館サービスの向上につなげるため、県内外の様々な研修等に職員を派遣しているほか、館外の図書館等職員を対象とした研修を実施している。

ア 新任図書館長研修

期 日	会 場	内 容 等
9月20日～ 9月22日	オンライン 形式	主催 文部科学省、国立大学法人筑波大学 特別講義 ①「国立国会図書館のデジタル化と図書館送信サービス」 渡邊 斉志 氏（国立国会図書館関西館） ②「北ヨーロッパにおける公共図書館の意義と役割」 吉田 右子 氏（筑波大学） 基本講義 「図書館行政の動向」 毛利 るみこ 氏（文部科学省） ほか

イ アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）

期 日	会 場	内 容 等
11月6日～ 11月11日	豊の国情報 ライブラリー	主催 国文学研究資料館 アーカイブズ総論・資源論・管理論 アーカイブズ管理の実際（会場施設見学等） ほか

ウ 2023図書館総合展「清教学園リブラリア」

期 日	会 場	内 容 等
11月9日	清教学園 図書館 (オンライン併用)	主催 図書館総合展運営委員会 各種探求学習の公開授業、懇談会 調査報告「探求学習で生徒はどう育ったか」 トークセッション ほか

エ 図書館等職員著作権実務講習会

期 日	会 場	内 容 等
11月11日	オンライン 形式	主催 文化庁 著作権法概論（著作権制度の概要等） 著作権法各論（著作物の複製、公衆送信等について）

オ 第109回全国図書館大会岩手大会

期 日	会 場	内 容 等
11月16日～ 11月17日	盛岡地域 交流センター ほか	主催 日本図書館協会、岩手県等 テ ー マ 「理想郷“イーハトーブ”で本当の幸せを考える ～希望ある未来は図書館とともに～」 記念講演 「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」 本間 希樹 氏（国立天文台） 各種分科会（公共図書館、著作権、障害者サービス）

カ 障害者サービス担当職員向け講座

期 日	会 場	内 容 等
11月28日～ 11月30日	オンライン 形式	主催 国立国会図書館、日本図書館協会 障害者サービスと読書バリアフリー法 国立国会図書館の障害者図書館協力サービス 体験講座（プレクストーク操作の利用支援） ほか

キ 全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）

期 日	会 場	内 容 等
12月14日～ 12月15日	長野市ホクト 文化ホール ほか (オンライン併用)	主催 日本図書館協会等 基調講演 「どうしたら図書館に子どもは来てくれるか？」 杉山 亮 氏 (児童書作家) 各種事例発表、分科会 (児童・青少年にとっての図書館像)

ク 九州・沖縄地区図書館地区別研修

期 日	会 場	内 容 等
1月31日～ 2月2日	熊本市立 図書館 (オンライン併用)	主催 文部科学省、熊本市教育委員会 基調講演 「図書館経営・評価とサービス計画」 桑原 芳哉 氏 (尚絅大学) 各種講義 (専門的情報の提供～ビジネス支援と医療業種との連携～)

ケ 第23回ビジネス・ライブラリアン講習会

期 日	会 場	内 容 等
1月30日	オンライン 形式	主催 ビジネス支援図書館推進協議会 オンデマンド講習、ビジネス支援概論、ビジネス情報源の活用法 ほか
2月12日～ 2月13日	オンライン 形式	講 習 公共図書館員の意識改革、オンデマンド講習のサポート ワークショップ ほか
2月18日～ 2月19日	大阪市立 中央図書館	講 習 ビジネス・レファレンスの実務演習 実践力養成、ワークショップ ほか

コ 宮崎県公共図書館連絡協議会

期 日	会 場	議 題
6月12日	県立図書館	新任職員研修会 (講師等はいずれも県立図書館職員) 説 明 「図書館ネットワークの活用法、市町村レファレンスについて」 「マイラインサービス・やまびこ文庫・セット文庫事業等について」 講 義 「読書活動についておさえておきたいこと」 「資料の収集等について」 情報交換 「新任司書としての課題や課題解決を図るために」
7月24日	県立図書館	職員研修 児童サービス 講 義 「ブックトークの進め方や意義」 演 習 「ブックトークの実践」 横山 眞佐子 氏 (児童書専門店「こどもの広場」)
8月21日	県立図書館 (オンライン併用)	専門研修 障がい者サービス 講 義 「どうする？障がい児・者サービス—図書館だから出来ること—」 講 師 塚田 薫代 氏 (元静岡県立子ども病院図書室)
9月12日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 課題解決型サービス 講 義 「地域と人に寄り添う図書館—紫波町図書館の取り組み」 手塚 美希 氏 (岩手県 紫波町図書館)

10月16日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 レファレンス研修会 講 義 「レファレンスインタビューの方法」 茶谷 えりか 氏 (日本図書館協会)
11月20日	県立図書館 (オンライン併用)	専門研修 障がい者サービス 発 表 「宮崎県立視覚障害者センターの実践紹介」 講 義 「図書館における読書バリアフリーの推進に向けて～取り組みたい環境づくりと対応～」 発 表 大賀 千穂美 氏、鶴 大輔 氏 (宮崎県立視覚障害者センター) 講 師 野口 武悟 氏 (専修大学)
12月12日	県立図書館 (オンライン併用)	職員研修 著作権 講 義 「図書館サービスと著作権」 長谷川 清 氏 (さいたま市立春野図書館)

(18) 図書館サポーター

県民の図書館への理解促進や県民の生涯学び続ける意欲の醸成の場とすること等を目的として、令和5年7月から運用を開始した事業である。初年度は4名をサポーターとして登録し、閲覧室の配架作業やBM 書庫での簡易な資料修理や装備、資料の清拭等に取り組んだ。

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び県立図書館条例（昭和25年条例第49号）第2条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委 員（任期：令和4年7月1日～令和6年6月30日）

区 分	所属・職名	氏 名	区 分	所属・職名	氏 名
社会教育 関係者	宮崎大学地域資源創成 学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社 生活文化部長	久保田 順司
〃	小林市立図書館長	山下 町子	〃	通所介護施設非常勤職 員（公募委員）	鳥海 美幸
学校教育 関係者	宮崎県立宮崎西高等学 校指導教諭	山崎 俊一	社会教育 関係者	(株)HUTTE代表	今西 猛
〃	都城市立高崎小学校長	満園 真由美	家庭教育 関係者	小林市小・中学校「読 みきかせ」連絡協議会 代表	坂下 実千代
学識経験者	都城島津邸館長	山下 真一	〃	美郷町教育委員（公募 委員）	橋口 美帆

※ 所属・職名は令和6年3月現在

② 令和5年度開催状況

開催年月日	協 議 事 項
令和5年8月4日(金)	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について
令和6年2月14日(水)	ア 令和5年度の運営状況について イ 令和6年度の運営方針等について ウ マイラインサービスの改称について エ 収蔵スペースの確保について オ 電子書籍サービスについて

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和33年に発足した。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

① 令和6年度役員名簿

役 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	宮崎県立図書館長	平山 文春	
副 会 長	都城市立図書館長	井上 康志	
〃	西米良村立図書室長	古川 信夫	
監 事	美郷町立図書館長	大坪 隆昭	
〃	高千穂町立図書館長	戸敷 二郎	
顧 問	宮崎県市長会長	池田 宜永	都城市長
〃	宮崎県町村会長	佐藤 貢	日之影町長

② 令和5年度事業実績
〈会議〉

期 日	会 場	議 題
5月22日	県立図書館	I 総会 1 令和4年度事業実績及び収支決算報告 2 令和5年度事業計画案及び収支予算案 3 令和5年度役員案 II 令和5年度読書団体等及び公共図書館等職員表彰 III 事務連絡 IV 分科会（管理担当者部門・実務担当者部門）
3月11日	県立図書館	中心館会議 1 令和5年度事業執行状況 2 令和6年度事業 3 市町村負担金・読進協次年度計画・その他

〈研 修〉

詳細・内容等は、47～48ページに記載。

〈県外研修派遣〉

※ 派遣なし

〈図書館アドバイザー派遣〉

詳細・内容等は、28ページに記載。

③ 令和5年度総会表彰者名簿

〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代表者名
キャンベル（都農町）	黒木 ひとみ

〈優良職員〉

所 属	職名・氏名
高千穂町立図書館	社会教育指導員 中野 道子

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

〈理事会・総会・研究発表会〉

令和5年5月26日（金） 会場：県立図書館研修ホール

・理事会

総会に向けての提案事項と役員改選について協議、秋季研究発表大会木城大会について説明を行った。また各地区での活動状況についての情報交換を行った。

令和5年7月26日（水） 会場：県立図書館研修ホールほか

・総 会

地区別協議会、第2回理事会および総会を実施した。第2回理事会では、役員改選について審議し、秋季研究発表木城大会について説明を行った。総会では、提案事項について審議が行われ、新役員の選出を行った。また、今回の木城大会について木城史友会から説明が行われた。

・研修会

宮崎県埋蔵文化財センター所長 吉本正典 氏による「発掘調査で解明された宮崎平野の開発史」というテーマの講演を行った。

〈秋季研究発表大会〉木城大会（木城町）

令和5年10月26日（木） 会場：木城町総合交流センターリパリスほか

午前中に現地視察が行われ、午後から木城史友会の 谷口俊博 氏の研究発表「中世城郭と根城坂の戦い」を行った。

〈その他〉

「地方史みやぎき 第68号」の発行



秋季研究発表木城大会の様子

② 役員及び加入団体（令和6年4月現在）

〈役員〉 任期：令和5年7月～令和7年7月

会 長 甲斐 典明（延岡史談会）

副 会 長 石川 正樹（高鍋史友会）、神保 侃弘（日南郷土史会）、
加藤 建夫（小林史談会）

理 事 柏田 公和（日向市史談会）、森 さち子（木城史友会）
田代 義博（南九州文化研究会）、稲泉 元司（えびの市史談会）
佐藤 正信（個人会員）、有馬 晋作（個人会員）

監 事 原口 勝（佐土原郷土史会）、河野 幸子（串間史談会）

顧 問 橋本 孝則（前会長）

事 務 局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

（令和6年4月現在）

名 称	所 在	名 称	所 在
延岡史談会	延岡市	佐土原郷土史会	宮崎市
日向市史談会	日向市	えびの市史談会	えびの市
木城史友会	木城町	小林史談会	小林市
高鍋史友会	高鍋町	都城史談会	都城市
宮崎考古学会	宮崎市	南九州文化研究会	都城市
宮崎県総合博物館	宮崎市	日南郷土史会	日南市
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎市	串間史談会	串間市

○ 団体会員：14 団体 個人会員：5 名

(4) 令和6年度宮崎県立図書館資料推薦委員

No.	推薦分野	氏 名	所 属 等	委員種類
1	歴史学（古代史、中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長	個人委員
2	歴史学（近世史）	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授	//
3	歴史学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部教授	//
4	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授	//
5	経済学	根岸 裕孝	宮崎大学地域資源創成学部教授	//
6	社会科学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会	//
7	語学（英語）	ウォーカー・ロイド	宮崎国際大学副学長 地域連携センター長	//
8	//（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学教授	//
9	//（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学教授	//
10	//（中国語）	園田 美伽	宮崎産業経営大学等非常勤講師	//
11	//（外国語一般）	永田 耕嗣	宮崎県国際交流協会常務理事	//
12	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師	//
13	自然科学・歴史	松野 義直	県総合博物館長	あて職委員
14	美術	武田 宗仁	県立美術館長	//
15	教育	佐々木 孝弘	教育研修センター所長	//
16	産業（フードビジネス）	日吉 誠一	宮崎県産業振興機構経営情報課長	//
17	健康	和田 陽市	小林保健所長	//
18	衛生・環境	藤崎 淳一郎	衛生環境研究所長	//
19	工学	福山 旭	工業技術センター所長	//
20	土木・建築	植村 幸治	技術企画課長	//
21	農業	松田 義信	総合農業試験場長	//
22	水産	大村 英二	水産試験場長	//
23	畜産	水野 和幸	畜産試験場長	//
24	林業	池田 孝行	林業技術センター所長	//
25	体育	安部 博己	スポーツ指導センター所長	//
26	福祉（障がい者）	牧 浩一	障がい福祉課長	//
27	考古学	飯田 博之	埋蔵文化財センター所長	//

【 参 考 资 料 】

1 沿革

(1) 県立図書館の歩み

明治			
35年5月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立 蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)		点サービス方式に切り換えることにし当年度 22 町村が完了 宮崎県史料刊行事業開始
大正			
4年11月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設	7月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入
5年1月	新館開館 (第2代館)		小中学生に対する館外貸出制度新設
昭和		11月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催
24年5月	工費 10,115,000 円で増改築	49年1月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加
25年4月	宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊	3月	蔵書目録第4巻 (芸術、語学、文学編) 刊行
26年8月	宮崎県立図書館協議会発足	49年4月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係、資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立 古文書解読研究会 (館内職員) 発足 郷土文化講座 (4 講座) を開催 県内の読書推進に寄与することを目的に 10 冊文庫を設置
29年1月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始		拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設
30年4月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始	11月	全国公共図書館整理部門研究集会 (27 日から 29 日 中小企業センターほか) を開催
33年4月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足	50年3月	宮崎県地方史研究紀要の刊行開始 宮崎県史料の刊行開始
34年4月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失	4月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設 延岡・都城・小林の3地区で開催
36年4月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成 鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)	51年1月	郷土文化講座 (4 講座) に自然科学講座を追加
7月	新館開館 (第3代館)	3月	蔵書目録第5巻 (昭和 48 年度までの補遺) 刊行
37年4月	5ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設	52年4月	重要貴重図書購入 5ヶ年計画を立案、実施
40年1月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行	10月	蔵書目録第6巻 (昭和 49 年度増加目録) 刊行
41年4月	3ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始	53年3月	蔵書目録第7巻 (昭和 50 年度・51 年度増加目録) 刊行
42年5月	複写サービス開始	54年4月	N. D. C 8 版・N. C. R 予備版に切换え
43年4月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始	6月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始
6月	3ヶ年計画で3級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始	10月	開架室の増設 (2 万冊を 2 万 4 千冊に)
44年1月	宮崎県行政資料所在目録刊行		
45年4月	5ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始 内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始		
46年3月	蔵書目録第1巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行		
47年3月	蔵書目録第2巻 (社会科学編) 刊行		
7月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)		
48年3月	蔵書目録第3巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行		
4月	自動車文庫による配本を3ヶ年計画で拠		

56年1月 県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる

58年1月 日曜日開館試行（3月まで第2、第4日曜日）

59年3月 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県立図書館に関する提言を含めた報告書を知事に提出

4月 日曜日開館開始

6月 宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2月まで委員会11回を開催）

60年1月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322点寄贈（「杉田文庫」創設）

4月 新館建設準備委員会（3月まで5回開催）及びコンピュータ導入委員会（3月まで13回開催）設置

7月 新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）
昭和61年3月20日設計完了

9月 宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして500万円寄贈（「岩切文庫」創設）

61年3月 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）
杉田文庫目録（図書の一部）刊行

10月 新館建設工事着工

62年3月 杉田文庫目録（遺墨類）刊行

12月 新館完成、引渡

63年1月 旧館閉鎖

2月 新館へ移転開始（第4代館）

63年5月 新館落成・開館記念式典及び記念行事
コンピュータ・システム稼働
安井息軒銅像除幕式
開館記念
「杉田文庫 稀観資料展」開催
「杉田文庫 俳諧資料展」開催

7月 図書館ボランティア養成講座開設

平成元年7月 紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察

11月 日本図書館協会百年史県内編集会議

2年1月 新館の入館者100万人を突破

3年3月 「嶺南日誌」1巻の発行（3巻で終刊）

4年10月 宮崎県立図書館創立90周年記念「文化講演会」開催

5年3月 宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定

7月 宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称 Myline）
運用開始（当初5市町村加入）
宮崎県立図書館協力連絡車運行開始

6年3月 「内藤充真院道中記」刊行

7年3月 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行

10月 宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21世紀の子どもたちに伝えるみやぎの本100冊展」開催

12月 「21世紀の子どもたちに伝えるみやぎの本100冊の本」刊行

8年3月 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行

9年3月 「佐土原藩譜」刊行開始

6月 図書貸出限度冊数3冊を5冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前9時に変更

11月 初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施

10年3月 マイライン全市町村接続

6月 「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成10年から11年）

10月 図書館づくりフォーラム開催

11年3月 宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして30万円寄贈（「平嶋文庫」創設）

12年4月 インターネットホームページ開設

9月 佐土原藩嶋津家江戸日記刊行開始

13年4月 みどりに関する資料特別収集方針策定

14年10月 図書館創立100周年記念事業を開催

11月 創立100周年記念式典

15年3月 「100年のあゆみ」刊行

4月 県内図書館横断検索システム導入（4館）

15年7月 国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画
パソコン2台でのインターネット閲覧サービス開始

16年4月 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7席）

6月 「ビジネス情報コーナー」の開設

17年4月 祝日開館試行開始

5月 入館者1,000万人突破

6月 閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設

10月 図書館利用講座開始

18年7月 宮崎県環境情報センターが館内（閲覧室）にオープン

19年12月 「みやぎぎぎLive! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催

20年2月 図書館サイン見直し
健康情報コーナー設置
「学校図書館運営のてびき」発行

11月 中村地平生誕100周年記念講演会開催

21年1月 宮崎県町村会主催 県立図書館共催により

「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催

2月 「子育て支援コーナー」の開設

22年4月 県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店(国民生活事業)、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結

6月 口蹄疫拡大防止のため、6月12日から7月26日の間、休館

8月 第34回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察

10月 新書庫へ視聴覚演習室改修(収蔵能力4万冊増)

23年3月 貸出点数を1人5点から10点(児童図書室の資料は5点まで)に変更
県立図書館ブログ開始

24年1月 ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催

3月 話集・音声CD「みやぎきの言の葉」(神話・伝承、民話編)刊行

5月 書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館(5月21日から6月8日まで)

12月 宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈(10年間 3,000冊)
「かば先生文庫」を創設、贈呈式

25年2月 児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備
宮崎県環境情報センターを1階閲覧室から1階ロビーに移転

4月 歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任
置県130年記念特別展「宮崎県誕生」を開催

27年4月 日曜・祝日の閉館時刻を午後5時から午後7時に延長
県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始

28年3月 移動図書館車「やまびこ」廃止(平成28年6月7日より「やまびこ文庫」に移行)

4月 新マイラインサービス開始
図書館ブログを休止し県立図書館公式フェイスブックページを開設

28年5月 県立図書館ビジョン懇談会発足

6月 移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ文庫」への引継式
「やまびこ文庫」開始

11月 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」を教育長へ

手交

29年6月 若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈(全878冊)

10月 対がん情報コーナー設置

12月 「宮崎県立図書館ビジョン」策定
「かば先生文庫」寄贈5周年記念おはなし会開催

30年3月 宮崎県立図書館ビジョン「第1期アクションプラン」策定

4月 宮崎大学との連携協力に関する協定締結

10月 「新館30周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催
県立図書館書庫増設検討委員会設置

11月 故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈

令和

元年7月 国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始

2年3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月5日から3月26日の間、臨時休館

4月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月21日から5月10日の間、臨時休館

3年3月 宮崎県立図書館ビジョン「第2期アクションプラン」策定

8月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス提供開始

12月 『読む』サポートコーナー設置

4年4月 図書館創立120周年記念事業を各種開催(3月まで)

9月 塩月桃甫によるデザインをもとにした新貸出利用券を発行

11月 BDS(ブックディティクションシステム)を非接触型に更新

5年2月 宮崎県立図書館ビジョンを一部改定し、「第3期アクションプラン」を策定

7月 図書館サポーターを設置

10月 宮崎県立図書館名誉館長就任10周年記念講演会を開催

6年3月 郷土の作家「中村地平」一試写会と館歌披露を開催

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考	歴代	就任年月	転退年月	氏名	備考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢田 重遠	学務課長 兼視学 掌	29	昭和 51.4	昭和 53. 3	日高 千文	専任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県兼 学 掌	30	" 53. 4	" 57. 3	三宅 孝明	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小山 季郎	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島 重俊	"
4	" 40. 2	" 42.12	石神 徳蔵	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大坪 學	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市川 覃	学務課長 兼	33	平成 2. 4	" 4. 3	新貝 晴男	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿夫	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久徳 菊雄	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜部 正一	"	35	" 5. 4	" 6. 3	村岡 啓吾	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専任	36	" 6. 4	" 8. 3	佐野 芳弘	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新原 俊秀	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒木 康博	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼	38	" 9. 4	" 11. 3	安田 天祥	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡本 保三	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四元 邦和	"
12	" 12.12	" 14. 4	小山 三郎	"	40	" 13. 4	" 14. 3	島内 清成	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多胡 全	社会教育 兼 専任	41	" 14. 4	" 15. 3	早川 烈	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古城 林	学務課長 兼	42	" 15. 4	" 15. 8	岩崎 武	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿賀 正美	"	43	" 15. 8	" 19. 3	伊藤 惇一	"
16	" 5.12	" 6.12	手島 伝	"	44	" 19. 4	" 21. 3	宮永 博美	"
17	" 6.12	" 7. 1	中島 知道	"	45	" 21. 4	" 22. 3	一原 則幸	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若山 甲蔵	専任	46	" 22. 4	" 23. 3	矢野 好孝	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐山 修	専任嘱託	47	" 23. 4	" 24. 3	高島 俊一	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山本 栄喜	社会教育 課長兼 掌	48	" 24. 4	" 25. 3	甲斐 睦教	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大山 俊建	"	49	" 25. 4	" 26. 3	坂本 義広	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日高 重孝	専任	50	" 26. 4	" 27. 3	内栞保 博秋	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中村 地平	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福田 裕幸	"
24	" 32.10	" 46. 3	日高 一	"	52	" 29. 4	" 31. 3	金子 洋士	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂積 正晴	教育次長 兼	53	" 31. 4	令和 3. 3	中原 光晴	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹内 敬郎	"	54	令和 3. 4	" 4. 3	岩本 真一	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉田 利治	専任	55	" 4. 4	" 5. 3	小川 雅彦	"
28	" 48. 4	" 51. 3	藺田 穂	"	56	" 5. 4		平山 文春	"

2 県立図書館条例・規則等

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(昭和31年4月13日条例第21号抄)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和39年4月1日条例第36号抄)

この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則(昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則(昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)
(最終改正 令和6年4月 教育委員会規則第3号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
 - (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
 - (3) 予算の執行及び決算に関すること。
 - (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
 - (5) 公印の管守に関すること。
 - (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
 - (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
 - (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
 - (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
 - (10) 県立図書館協議会に関すること。
 - (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。
- (情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚ライブラリーに関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
館長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副館長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専任主事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な事務に従事する。
専任技師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な技術に従事する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主任技師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職務
専任主幹	上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
主幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専任副主幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
副主幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
専任主査	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその専門的業務に従事する。
主査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

- 3 前2項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、専門主幹、専門主事及び専任技師を置く。
- 4 専門主幹は、上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
- 5 専門主事は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
- 6 専門技師は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

- 2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 閲覧室及び対面朗読室
午前9時から午後7時まで
 - (2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室
午前9時から午後5時まで
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。
(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
 - (2) 12月29日から翌年の1月4日まで(前号に掲げる日を除く。)
 - (3) 特別整理期間(あらかじめ、館長が定めて公示する期間)
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。
(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

- 2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写(単色のもの)	複写1面につき	10円
電子複写(カラーのもの)	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
 - (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
 - (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
- (複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。

(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。

(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料

(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者

に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
- (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

- (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
- (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
- (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
- (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）

(2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）

附 則（平成2年4月17日教育委員会規則第8号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年8月25日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年5月22日教育委員会規則第5号）
この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第9号）
この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月29日教育委員会規則第8号）
この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月30日教育委員会規則第12号）
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）
この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日教育委員会規則第6号）
この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月21日教育委員会規則第1号）
この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則（平成23年7月21日教育委員会規則第4号）
この規則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教育委員会規則第10号）
この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月29日教育委員会規則第11号）
この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月30日教育委員会規則第5号）
この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日教育委員会規則第3号）
この規則は、公布の日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

- 第1条 県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に議長及び副議長各1人を置く。
- 2 議長及び副議長は、協議会委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は委員の任期による。
- 3 議長は、委員の会議を主宰する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。
- 第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。
- 2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。
- 第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。
- 第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。
- 附 則
この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

(4) 宮崎県立図書館資料収集方針

(平成18年8月1日 施行)
(最終改正 平成30年4月1日)

1 趣旨

この収集方針は、宮崎県立図書館（以下、「県立図書館」という。）の、図書館資料（以下、「資料」という。）の収集に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

県民への社会教育の推進、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために、各分野における基本的な資料から専門的な資料まで幅広く収集し、特に下記事項について、重点的に取り組むものとする。

(1) 県立図書館としての役割による収集

県全域への均衡ある図書環境を充実させるために、市町村の図書館や図書室（以下、「市町村立図書館等」という。）と連携・協力を図り、それぞれの役割を踏まえた資料の収集に努めるものとする。

(2) 学校教育援助のための収集

社会教育と学校教育との連携のもと、学校教育における課題解決や児童生徒の学習活動を援助するために、必要とする資料の収集に努めるものとする。

(3) 郷土資料充実のための収集

本県の歴史、文化、行政など郷土に関する資料を次世代に引き継いでいくために、市町村立図書館等と連携・協力を図りながら、県内各地域に関わる資料の収集に努めるものとする。

(4) 子ども読書活動推進のための収集

家庭や地域、学校等と連携・協力を図りながら、読み聞かせや自主的な読書など子どもたちの読書活動を推進するために、県民的な取組に向けた適切な資料の収集に努めるものとする。

(5) 特色ある図書館づくりのための収集

本県のすばらしい自然環境の保護と、国土保全を担いかつ本県産業の基盤である農林水産業の発展に資するために、県民の理解や意識の高揚、啓発につながる特色ある資料の収集に努めるものとする。

(6) 地域や社会人支援のための収集

地域や社会人が、その時々々の社会情勢や様々な要因によって抱える課題の解決を支援するために関係機関との連携・協力を図りながら、関連する分野の総合的な資料収集に努めるものとする。

3 資料別収集基準

収集に当たっては、2の基本方針を踏まえ、次に掲げる資料ごとの基準により、予算の範囲内において効率的で適切な収集を行う。

(1) 一般資料

一般資料とは、次の(2)から(10)に掲げる以外の資料をいう。

ア 総記

(ア) 情報科学は、最新のものから解説書を中心に収集する。

(イ) 図書館、図書に関する資料は広く収集する。

イ 哲学・宗教

(ア) 哲学は、入門書や解説書などを中心に体系的に収集する。

(イ) 心理学、倫理学は、解説書、研究書を収集する。

(ウ) 宗教は、平易に書かれた解説書を中心に収集する。

ウ 歴史・地理

(ア) 歴史は、各時代における入門書、研究書、史料等を収集する。

(イ) 伝記は、著名人に関するものを広く収集する。

(ウ) 地理、地誌、紀行は、解説書を中心に収集する。

エ 社会科学

(ア) 今日の課題を踏まえて収集する。

(イ) 法令等の改正に伴う資料は、手引書や解説書を収集する。

(ウ) 統計資料等は、広く継続的に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

オ 自然科学・医学

(ア) 自然科学は、幅広く収集する。

(イ) 天文学や地球科学及び生物科学は、積極的に収集する。

(ウ) 医学・薬学は、各細目にわたり、入門書、解説書を中心に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

カ 技術・家政学

- (ア) 技術、工学は、最新の情報に留意して収集する。
- (イ) 環境を取り扱った資料は、幅広く積極的に収集する。
- (ウ) 家政学は、解説書を中心に収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

キ 産業

- (ア) 農林水産業に関する資料は、幅広く積極的に収集する。
- (イ) 商業や観光は、地域支援に関するものを中心に収集する。
- (ウ) 運輸、通信は、最新の情報に留意して収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

ク 芸術・スポーツ・諸芸

- (ア) 芸術は、解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
- (イ) スポーツはルール改正に留意し、解説書、技術書等を収集する。
- (ウ) 諸芸は、解説書、研究書を中心に収集する。

ケ 言語

- (ア) 言語学、辞典類は広く収集する。
- (イ) 文章、会話、方言などは解説書を中心に収集する。

コ 文学

- (ア) 古典や研究書などを充実させる。
- (イ) 主な文学賞受賞作品は収集する。
- (ウ) 全集、作品集は広く収集する。

(2) 参考資料

参考資料とは、特定の知識、情報について調べるための資料をいう。

- ア 調査研究やレファレンスなどの業務に役立つ各分野の資料を収集する。
- イ 学術的に評価のあるものを収集する。
- ウ 各種統計報告書などのデータ資料、また国等の行政機関による刊行物は、積極的に収集する。

(3) 児童資料

児童資料とは、乳幼児が見る赤ちゃん絵本から、中学生向けの読み物に至る子どもの資料をいう。

- ア それぞれの年齢、発達段階に応じた資料を幅広く収集する。
- イ 長く読み継がれるなど、評価の定まった資料は、もれなく収集する。
- ウ 児童文学研究や読書活動推進に関する資料を収集する。

(4) 青少年資料

青少年資料とは、主に10代を対象とした資料をいう。

- ア 青少年の読書活動の推進を図るため、興味関心等も考慮し、感性と創造力を豊かにする資料を幅広く収集する。
- イ 生活や学習の課題解決などに関する資料を収集する。

(5) 郷土資料

郷土資料とは、郷土や郷土関係者などに関する資料をいう。

- ア 宮崎県全域および歴史的、社会的に関係の深い地域の資料を、網羅的に収集する。
 - (ア) 郷土の事物や郷土にゆかりのある人について記載された資料
 - (イ) 本県および県内市町村または国その他公的機関が刊行、あるいは作成した資料
 - (ウ) 郷土で活動する個人や団体などが作成した資料
 - (エ) 古文書等史資料
 - (オ) 郷土にゆかりのある人が著した資料
- イ 郷土資料として収集するものは、図書、古文書、絵図、地図、写真、逐次刊行物、パンフレット類、視聴覚資料等を対象とする。

(6) 逐次刊行物

逐次刊行物とは、終期が予定されず、同一の標題のもと、巻号や年月などに表示され定期的（あるいは不定期）に刊行される資料をいう。

ア 雑誌

- (ア) さまざまな分野における県民の学習支援のための雑誌
- (イ) 九州各県で、分担保存の取り決めをしている雑誌
- (ウ) 県内公共図書館等で、分担保存の取り決めをしている雑誌

イ 新聞

- (ア) 主要な全国紙
- (イ) 九州各県の主要な地方紙
- (ウ) 業界紙、子ども紙、外国紙

(7) 視聴覚資料

視聴覚資料とは、図書館資料のうち、映像、音声など文字以外の表現方法で主に記録され、図書館法に定める視聴覚教育の資料をいう。

ア 県民の教育文化に向上に資する資料を収集する。

(ア) 視聴覚事業及び社会教育関係団体の活動、学校の教育活動に活用できる資料

(イ) 高く評価され感動的な資料

(ウ) 国内外で受賞した芸術性の高い資料

(8) 外国語資料

外国語資料とは、対象が主として外国人向けで、主に日本語以外で表現された資料をいう。

ア 外国人への情報提供の充実、および県民の外国理解に役立つ資料を収集する。

(ア) 日本の歴史、文化等に関する資料、日本文学の翻訳資料

(イ) 外国の歴史、文化、文学等に関する資料

(ウ) 外国人が、日本での生活に必要なとする情報を提供できる資料

(9) 電子資料

オンラインデータベースなどの電子資料は、他の資料との情報の補完性を考慮して収集する。

(10) その他

幅広い利用者への資料の提供及び資料の適切な保存や活用を図るため、次の仕様による資料も適宜収集する。

ア 大活字本、音声資料

イ マイクロフィルム資料

ウ 新聞、雑誌などの製本資料

4 資料収集の体制

(1) 図書、逐次刊行物及び視聴覚資料など資料収集の検討を行うため、宮崎県立図書館図書選定連絡会（以下「連絡会」という。）を置く。

(2) 連絡会の設置及び運営については、別途要領を定める。

附 則

この方針は、平成18年8月1日から施行する。従前の「宮崎県立図書館資料収集方針」（平成9年4月1日施行）は廃止する。

一部改正 平成28年4月1日

一部改正 平成30年4月1日

(5) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領

1 目的

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎきのイメージにあった「みどりに関する資料」を特別収集する。

2 収集方針

(1) 特別収集する資料は、「みどりに関する資料」とし、内容は下記のとおりとする。

・「自然に関する資料」

・「環境に関する資料」

・「緑の文学に関する資料」

(2) 県民が自然や緑のすばらしさと大切さを知り、これらに親しむことができる資料を収集する。

(3) 県民の環境教育・環境学習の推進に役立ち、環境保全に対する意識の高揚と啓発につながる資料を収集する。

3 「みどりに関する資料」収集内容

「自然に関する資料」

・森林 ・植物 ・動物 ・海洋 ・自然公園 ・天然記念物

・河川 ・湖沼 ・農業 ・園芸 ・ビオトープ ・アウトドア

・グリーンツーリズム ・林業 ・国土保全等

「環境に関する資料」

・地球環境問題（地球温暖化 熱帯雨林の減少 オゾン層の破壊 酸性雨等）

・エコロジー ・リサイクル ・エコライフ ・大気汚染

・廃棄物 ・河川汚濁

・河川浄化　・海洋汚染　・エネルギー等

「緑の文学に関する資料」

・自然や環境をテーマとした文学等（ネイチャーライティング 緑の文学批評等）

(6) 資料の除籍に関する要項

（昭和63年4月1日 施行）

（最終改正 平成30年4月1日）

1 目的

この要項は、宮崎県立図書館が所蔵する資料の適正な管理を行うため、資料の除籍についてその必要な事項を定めるものとする。

2 除籍の種類

除籍は、その原因となる事由により、下記の（1）～（7）のように区分する。

(1) 不用

- ① 資料が資料的価値を失い、保存の必要がないと認められた場合。
- ② 複本が必要以上にある場合。
- ③ BM資料で10年を経過したもの。ただし、このうち資料的価値のあるものは本館へ配架替えを行う。
- ④ 逐次刊行物については、別に定めるところによる。

(2) 亡失

- ① 貸出をうけた利用者が、資料を紛失した場合。
- ② 不慮の事故・災害・その他の事由により資料が亡失したと認められる場合。
- ③ 住所不明等により、返却期限から3年を越えて返却されない場合。
- ④ 蔵書点検で、2回連続不明となった場合。

(3) 汚損・破損

- ① 資料の全部あるいは一部が汚れて、文字や絵が判読できない場合。
- ② 資料が破損し、修理不能と判断した場合。

(4) 所管換え

資料を他の所属長に管理替えを行う場合。

(5) 数量更生

受入済の資料を合冊または分冊して数量変更する場合。

(6) 寄託返還

寄託で受け入れた資料を返還した場合。

(7) その他の除籍

その他除籍することが適当と館長が認める場合。

3 除籍の決定

- (1) 資料を除籍しようとするときは、除籍処分調書（様式第7号）に必要事項を記入の上、決裁を受けなければならない。
- (2) 利用者が貸出中に亡失または損傷した場合は、図書館資料亡失・損傷届（宮崎県立図書館閲覧室等利用規程様式第13号）を除籍処分調書に添付する。

4 決裁後の処理

除籍が決定したときは、次の各号に定める処理を行う。

- ① 電算システム上での除籍処理。除籍区分・除籍月日・資料番号等の入力。
- ② 不用で除籍した資料については、資料の標題紙の裏面に除籍印を朱色で押印する。
- ③ 不用で除籍した資料で、市町村立図書館等へ寄贈してもよいものがあれば、各図書館等へ紹介する。

附 則

この要項は昭和63年4月1日から施行する。

一部改正 平成12年 3月 3日

一部改正 平成29年 1月26日

一部改正 平成30年 4月 1日

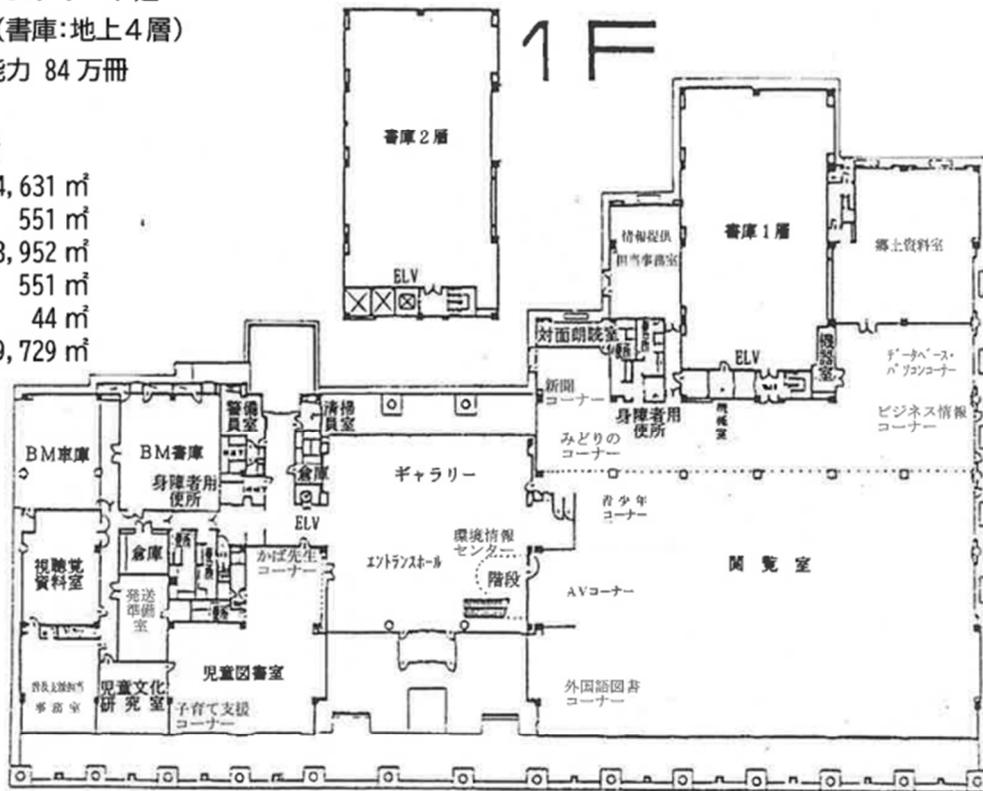
3 施設概況

(1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造
 地上2階（書庫：地上4層）
 図書収蔵能力 84万冊

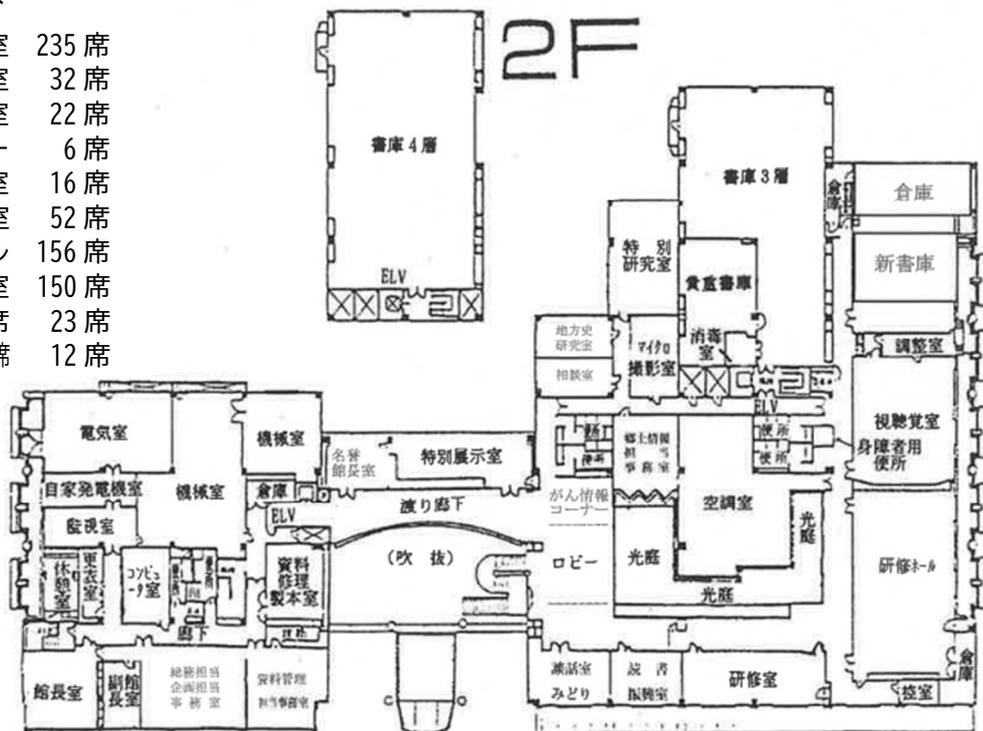
(2) 床面積

1階 4,631㎡
 551㎡
 2階 3,952㎡
 551㎡
 屋階 44㎡
 合計 9,729㎡



(3) 座席数

一般閲覧室 235席
 郷土資料室 32席
 児童図書室 22席
 AVコーナー 6席
 読書振興室 16席
 研修室 52席
 研修ホール 156席
 視聴覚室 150席
 パソコン席 23席
 新聞コーナー席 12席



4 令和5年度施設の維持管理

(1) 照明改修

児童図書室及び2階事務室の一部LED化、並びに児童文化研究室スイッチの改修を行った。

(2) 消防設備修繕

書庫の消火器、清掃員室のガス漏れ火災警報設備、閲覧室の誘導灯の取替えを行った。

(3) 外床洗淨

エントランスホール正面入口左右の外床と北側玄関及び東側の外床の高圧洗淨を行った。

(4) 雨漏り修繕

エントランスホール正面入口の自動ドア天井からの雨漏り防止のため、コーキングを打ち替えた。

(5) 空調機修繕

書庫4層北側に設置されている空調機の熱交換器に不具合があったので、新品と取り替えた。

(6) 電力貯蔵設備改修工事

2階電気室の直流電源装置と蓄電池設備を更新した。



直流電源装置と蓄電池設備

5 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月29日～1月4日）

特別整理期間（9月18日～9月20日、令和7年1月27日～令和7年2月7日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911 全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務・企画課総務担当

0985-29-2911 各種図書館事業の企画・広報・・・・・・・・・・総務・企画課企画担当

0985-29-2970 資料の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務・企画課資料管理担当

0985-29-2956 やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業・・・・・・・・・・情報提供課普及支援担当

0985-29-2954 郷土情報に関する問合せ・・・・・・・・・・情報提供課郷土情報担当

0985-29-2596 図書の貸出・返却・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

0985-29-2972 資料に関する問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当・資料管理担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（郷土情報担当・情報提供担当）

(5) 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

(7) SNS

フェイスブック <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

インスタグラム https://www.instagram.com/miyazaki_pref_lib/

6 市町村立図書館一覧

図書館名	館長名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
宮崎市立図書館	迫田 繁	880-0930	宮崎市花山手東3丁目25番地3	0985-52-7100	0985-52-7158
宮崎市立佐土原図書館	園田 義明	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20527番地4	0985-30-1037	0985-72-2066
都城市立図書館	井上 康志	885-0071	都城市中町16街区15号	0986-22-0239	0986-22-0251
都城市立高城図書館(分館)	井上 康志	885-1202	都城市高城町穂満坊105番地	0986-58-4224	0986-58-4245
延岡市立図書館	工藤 靖治	882-0812	延岡市本小路39番地1	0982-32-3058	0982-22-0644
延岡市立図書館北方分館	山本 栄作 (兼)北方分室長	882-0125	延岡市北方町川水流卯1236番地2	0982-28-5200	0982-28-5201
延岡市立図書館北浦分館	太田 康晶 (兼)北浦分室長	889-0301	延岡市北浦町古江1943番地1	0982-45-2466	0982-45-2466
延岡市立図書館北川分館	岡田 健一 (兼)北川分室長	889-0192	延岡市北川町川内名7250番地	0982-46-2047	0982-46-2065
日南市立図書館	重永 康彦 (兼)生涯学習課長	889-2535	日南市飴肥2丁目6番18号	0987-25-0158	0987-25-1200
日南市まなびピア図書館	〃	887-0013	日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	0987-22-5666	-----
日南市立北郷図書館	〃	889-2402	日南市北郷町郷之原乙1570番地	0987-55-2469	0987-55-2469
日南市立南郷図書館	〃	889-3204	日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	0987-64-0924	-----
小林市立図書館	田鍋 友皇	886-0004	小林市細野367番地1	0984-22-7913	0984-22-4333
小林市立図書館野尻分館	〃	886-0212	小林市野尻町東麓1183番地2	0984-44-1100	-----
小林市立図書館須木分館	〃	886-0111	小林市須木中原1741番地1	0984-48-2954	-----
日向市立図書館	海野 由紀	883-0035	日向市春原町1丁目47番地	0982-54-1919	0982-54-5444
串間市立図書館	黒木 さやか	888-0001	串間市大字西方6524番地58	0987-72-1177	0987-72-0803
西都市立図書館	椎原 昌司 (兼)社会教育課長	881-0003	西都市大字右松2606番地1	0983-43-0584	0983-41-1113
えびの市民図書館	高田 克史	889-4311	えびの市大字大明司2146番地2	0984-35-0242	0984-35-3040
三股町立図書館	米丸 麻貴生 (兼)教育長	889-1901	北諸県郡三股町大字榊山3406番地8	0986-51-3200	0986-51-3751
国富町立図書館	佐藤 利明 (兼)社会教育課長	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	0985-75-9577	0985-75-9558
綾てるは図書館	中村 清久	880-1302	東諸県郡綾町大字北俣462番地2	0985-77-0180	0985-77-0585
町立高鍋図書館	濱本 明俊 (兼)社会教育課長	884-0003	児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	0983-21-1152	0983-21-1153
新富町図書館	福重 和泉 (兼)生涯学習課長	889-1403	児湯郡新富町大字上富田6345番地5 新富町総合交流センター「きらり」内	0983-32-7878	0983-33-5928
川南町立図書館	巻 庄次郎	889-1302	児湯郡川南町大字平田2386番地3	0983-27-7111	0983-27-7100
都農町民図書館	岩本 繁 (兼)社会教育課長	889-1201	児湯郡都農町大字川北5448番地2	0983-25-3316	0983-25-2683
門川町立図書館	大澤 陽一 (兼)教育課長	889-0611	東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	0982-68-0001	0982-68-0024
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷田代1870番地	0982-62-6204	0982-66-2131
美郷町立北郷図書館	〃	889-0901	東臼杵郡美郷町北郷宇納間401番地	0982-62-6205	0982-62-6193
美郷町立南郷図書館	〃	883-0306	東臼杵郡美郷町南郷神門287番地	0982-59-1605	0982-59-1119
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	黒木 保隆 (村長)	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1829番地70	0982-67-2177	-----
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1	0982-72-7219	0982-72-5515
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	882-0401	西臼杵郡日之影町大字七折9079番地	0982-87-3809	0982-87-3816
※令和6年4月1日現在。					

宮崎県立図書館

Live!
Library
Miyazaki Prefectural Library

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911
企画担当 0985-29-2911
資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956
郷土情報担当 0985-29-2954
情報提供担当 0985-29-2596
レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491
企画担当 0985-29-2491
資料管理担当 0985-29-2491

情報提供課

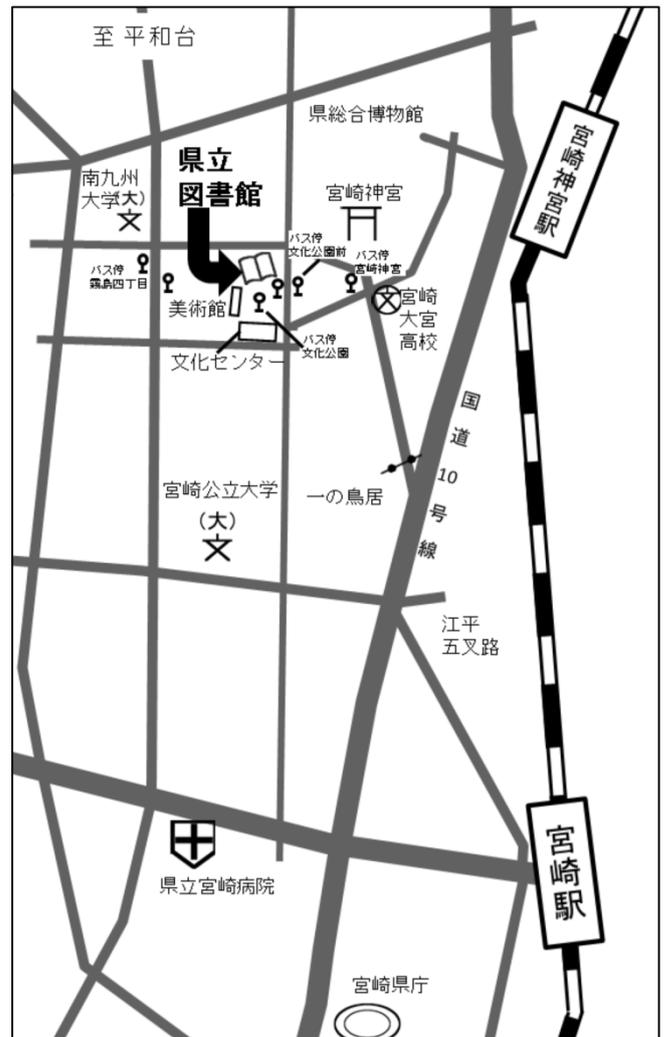
普及支援担当 0985-29-2961
郷土情報担当 0985-22-9070
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp (代表)

ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和6年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月
編集・発行

令和6年7月
宮崎県立図書館